

官報 號外

明治二十九年三月十七日 火曜日 內閣官報局

第九回衆議院議事速記録第三十九號

帝國議會 明治二十九年三月十六日(月曜日)午後一時二十四分開議

議事日程 第三十九號 明治二十九年三月十六日 午後一時開議

- 第一 民法中修正案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
第二 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷 第一讀會
第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第四 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設計可ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第六 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設計可ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第八 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設計可ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設計可ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十二 豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設計可ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十四 東京府下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十六 京都府下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會
第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第十八 葉烟草專賣資金會計法案(政府提出) 第一讀會
第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第二十 獸疫豫防法案(政府提出) 第一讀會
第二十一 移民保護法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
第二十二 靜岡縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

- 第二十三 岐阜縣下郡廢置及郡界變更法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
第二十四 愛媛縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
第二十五 北海道鐵道敷設法案(貴族院提出) 第一讀會
第二十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
第二十七 酒精營業稅法中改正法律案 第一讀會ノ續
第二十八 山形縣下郡分合法案(重野謙次郎君外二名提出) 第一讀會
第二十九 郡制改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)
第三十 國界變更法律案 第一讀會ノ續(特別委員)
第三十一 府縣農事試驗場國庫補助法案 第一讀會ノ續(特別委員)
第三十二 商法中改正法律案(小室重弘君外一名提出) 第一讀會
第三十三 明治二十三年法律第四十六號水利組合條例中改正追加法律案(大田信一君外四名提出) 第一讀會
第三十四 日本銀行課稅法案(石田貫之助君外三名提出) 第一讀會
第三十五 日本銀行條例中改正法律案(石田貫之助君外三名提出) 第一讀會
第三十六 日本銀行課稅法案(阿部與人君外三名提出) 第一讀會
第三十七 家祿賞典祿處分法案(深山聳晴君外三十五名提出) 第一讀會
第三十八 明治二十七年法律第二十號中改正法律案(首藤陸三君外二十八名提出) 第一讀會
第三十九 輸入羊毛海關稅免除法律案(松尾寬三君外七名提出) 第一讀會
○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマスル
(佐脇書記官朗讀)
政府委員左ノ通り仰付ラレタル旨伊藤內閣總理大臣ヨリ通牒アリ
政府委員 辦理公使 水野 遵君
貴族院ヨリ送付セラレタル議案左ノ如シ
地方學事通則中改正法律案
議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
港灣調査ノ建議案
提出者 目黒貞治君 江橋 厚君

小幡 儼太郎君 藤 金 作君  
恒 松 隆 慶君

○議長(楠本正隆君) 諸君、新議員ノ御紹介ヲ申シマス、愛媛縣第六區補  
關選舉ニ當選セラレマシタル今西幹一郎君、本日ヨリ出席ニナリマシタ、御  
紹介ヲ申シマスル

(拍手起ル)

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ就イテ決議ヲ要  
シマス、佐々友房君病氣ニ附キ二週間ノ請暇、是ハ十四日附ニシテ郵送ニ相  
成ツテ居リマスルカラ、其御積ニテ茲ニ承認ヲ請ヒマスル

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ議事日程ノ第一、民法中修正案一讀會ノ續  
委員長星亨君

第一 民法中修正案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員  
長報告)

(星亨君演壇ニ登ル)

○星亨君(八番) 諸君、今日ハ民法中修正案委員會ノ結果ト經過ヲ報シマス、  
委員會ハ二月二十八日始テ開キマシテ、ソレヨリ三月十四日ニ結了ヲ致シマ  
シタ、ソレデ會ヲ開クコト凡ソ十二回、或ハ一時カラシテハ六時過ニ爲ルシ、  
或ハ朝カラ會シテ十時頃ヨリ一時頃ニ至リマシテ、誠ニ委員會ノ諸君ハ非常  
ナル勉強ヲ以テ、此活潑ナル民法法案ヲ總テ審査ヲ終リマシタノデゴザリマ  
ス、ソレデ既ニ修正ノ部分ハ御手許ニ印刷シテ御廻シ申シテアリマス、ソレ  
デゴザリマス、是ヨリ修正ノ箇條ニ就イテ一々御報道致サウト考ヘル、隨分修正  
ノ箇條ノ中デ或ハ「ノ」ガ「ト」ナリ「ナリ」云ト云フ字ヲ削除シタリ或  
ハ「最終」ガ「最後」トナリタリ其他條文ガ種エマシタガタメニ條文ガ繰下ニ  
爲ッタリ、サウ云フコトニ就イテハ御手許ニ同ッテ居ル印刷物ヲ御覽ニナレ  
バ、別ニ私ガ説明セズシテ御分リニナラウト考ヘマスカラ、其部分ニ就イテ  
ハ強テ説明ヲ致シマセヌ、唯或ハ修正ニ爲リ、若クハ挿入ニ爲リ、削除ニ爲  
タ部分ガゴザリマスカラ、ソレヲ聊カ御報道致サウト考ヘル、而シテ其御  
報道致スベキモノハ二十四箇條程ゴザリマスノデアアル、御手許ニ同ッテ居  
マス中デ印シガ丸ニツ書イテアルノハ是ハ條項ノ修正等デゴザリマス、ソレ  
カラ何ニモ書イテナイノガ幾ラカ修正ヲ致シタノデアアル、其中今申スガ如ク、  
或ハ「ナリ」ガ無クナリタリ「カ」ガ「ノ」ニナリタリスルヤウナモノデゴザ  
リマスガ、大體御手許ニアル中ノ二ツ丸ガ書イテアルノガ修正ノナイ唯條項ヲ  
分ツタ部分、其二ツ丸ノ内ノハ、即チ幾ラカ修正ニ爲ッタモノト御了知ヲ願  
ヒタイ、先ツ修正ノ中ノ御報道致スベキ第一ト申スノハ、當民法修正案ノ  
十二條ニゴザリマスノデアリマス、十二條ノ中ノ第七號ニ「遺贈若クハ贈  
與」トゴザリマスノヲ、此遺贈ヲ上ニ致シテ、贈與ヲ下ニ致シマシタノデア  
ル、是ハ後ニアル部分モ、矢張贈與ガ先キニナリテ遺贈ヲ後ニシテ、其  
例ヲ追ヒマスノデアアル、是ハ贈與ヲ上ニ致シ、遺贈ヲ下ニシタニ止ルノデア

リマス、ソレカラ第二ニ御報道致シマスノハ、三十條ノ一項デゴザリマスノ  
デ、三十條ノ一項ニハ「不在者ノ生死カ十年間分明ナラサルトキハ」トゴザ  
リマス、此十年間ト云フノヲ七年ニ致シマシタノデアアル、是ハ或ハ失踪等  
ノ事ニ就イテ、其人ノ生死ガ分ラヌトキニ十年間ト云フコトデゴザリマス  
ガ、併ナガラ餘リ十年間デハ長過ぎル、而シテ我國ノ今日ノ取扱ハ三十六  
箇月デゴザリマスカラシテ、併ナガラ我國ノ取扱ハ法典ヨリ寛ナリ所ガア  
リマスカラ、或ハ三十六箇月デ宜イカ知リマセヌガ、此法典ニ於テハ種々  
ナル點ガ今ノ有様ト違ッテ居ッテ、嚴ニ致シテゴザリマスカラ、七年位デ宜  
カラウト云フコトデゴザリマシテ、七年ニ致シマシタ、而シテ其七年ト云フ  
ノハ、何レノ標準ニ據ッテ取ツタカト云ヘバ、英吉利ニ於テハ七年デア  
ル、英吉利ノ法ニ據ッタガ宜カラウト云フコトデ而シテ七年ニ爲リマシタノデア  
ル、ソレカラ次ニ御報道致シマスノハ、七十條デゴザリマス、第七十條ノ第  
二項トシテ一項ヲ加ヘタ、ソレハ「前條ノ場合ニ於テハ理事ハ破産宣告ノ請  
求ヲナスコトヲ要ス」ト云フコトヲ加ヘタノデアアル、ナゼ之ヲ加ヘタカト云  
ヘバ、此七十條ノ第一項ニ依リマス、裁判所ハ是ヲ爲スコト、既チ破産  
ノ宣告ヲ爲スコト、云フコトガゴザリマシテ、理事ガ宣告ヲ請求スルコトガ  
イルノカ、イラヌノカ一向分ラヌノデゴザリマス、故ニ是ニハ第二項ヲ加ヘ  
ナケレバ、即チ後トノ點ニ於テ差支ガ起ル、斯ウ云フ譯カラシテ第二項ヲ加  
ヘテ、理事ガ請求シナケレバナラヌト云フコトニ致シタノデゴザリマス、ソ  
レデ其後トノ項ニ差支ガ起ルト云フノハ、慥カ八十四條、八十四條ノ第五號  
ニ其理事ハ斯ウ云フコトヲセナカッタラバ、怠ッタラバ其過料トシテ罰  
ニ當テラレルト云フコトガゴザリマスノデアアル、即チ第七十條又ハ第八十  
一條ノ規定ニ反シ破産宣告ノ請求ヲナスコトヲ怠リタルト云フノガゴザ  
リマス、而シテ理事ハ請求ヲ怠レバ罰ヲ蒙ル、然ルニ此七十條ニハ理事ガ請求  
スルト云フコトガ原案ニ於テハナイノデゴザリマス、故ニ請求シナクッテモ  
宜イノニ請求シナカッタカラ罰ヲ蒙ルト云フノハ、權衡ヲ得ナイノデアアル、  
故ニ七十條ノ第二項トシテ、理事ガ請求ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ入  
レナケレバ、即チ八十四條ノ第五號ト對セヌト云フコトニナリマシテ、即チ  
七十條ノ第二項ヲ加ヘマシタノデアアル、次ニ御報道致スベキコトハ、百四十  
一條ノ二項ヲ削除致シマシタ、百四十一條ノ二項ニ斯ウ云フコトガ書イテゴ  
ザリマス「法定又ハ慣習ノ取引時間アルトキハ末日ノ取引時間ノ終了ヲ以テ  
期限ノ滿了トス」ト云フコトガゴザリマス、是ニ依リマス、法定又ハ慣習  
トカ、又ハ慣習ヲ取引時間ガアル場合ニハ、其取引時間ノ終ヲ以テ期間ノ終ト  
スルト云フコトニ爲ッテ居リマス、或ハ銀行其他ノ處デ午後四時限ト云フ  
コトニ爲ッテ居リマス、其四時ガ過ぎテ仕舞ッタナラバ金ヲ返シテモ取ラ  
ヌト云フヤウナコトニナリテ來ル、或ハ違約ナリト云フヤウナ事ガアル、サ  
ウ云フコトニナルト我國ノ今日ノ有様ニ於テハ、若シサウ云フコトヲ嚴ニ  
スルト云フコトニナレバ、ソレガタメニ違約處分ヲ受ケル者ガ多クナリマス

ガ故ニ、大層都合ガ悪ルイ、不都合デアルト云フ考カラ、即チ第四百四十一條ノ第二項ヲ削除致シマシタノデアアル、次ニ御報道致スベキノ八百四十九條中ニ「訴ノ」ト云フニ文字ヲ入レマシタノデアアル「裁判上ノ請求ハ却下又ハ取下ノ場合ニ於テハ時効中斷ノ效力ヲ生セス」此却下ト云フ上ニ「訴ノ」ト云フニ文字ヲ入レマシタノデアアル、是ハ即チ「訴ノ」ト云フコトヲ入レナケレバ、本訴ノ却下ニ就イテ所謂本訴ヲ棄却セラレタ部分ト、訴ノ却下トノ區別ガナイ、ツレガタメニ大層ナ害ヲ生ズル、斯ウ云フ譯カラシテ時効中斷ノ效力ヲ生ズルモノハ、請求ヲ棄却スルモノデアアル、時効ガ生ゼナイモノハ訴ノ却下ト云フコトニナルノデア、斯ウ云フ譯カラシテ「訴ノ」ト云フニ文字ヲ挿入致シマシタノデアアル、又次ニ御報道致シマスノ八百六十九條、是ハ斯ウ云フコトニナリマスノデゴザイマス、元ハ「所有權以外ノ財產權ハ二十年間之ヲ行ハサルニ依テ消滅ス」トアリマシテ、即チ消滅時効ノ部分デゴザイマス然ルニ是デハ今日國家ノ現狀ニ適シテ居ラスノデアアル現狀ハ餘程短クナツテ居ルノデアアル、然ルニ斯ウ云フヤウニ長クナツテハ餘リ——多少ハ長イコトハ此法典其他ノ道理カラ宜シイガ、餘リ長過ギルト云フ譯カラ之ヲ修正致シタ、其修正ハ斯ウ云フヤウニナリマスノデアアル、前ハ一項デゴザイマスノヲ——元ハ一項デゴザイマシタノヲ二項ニ修正致シタ「債權ハ十年間之ヲ行ハサルニ依リテ消滅ス」ト、二項ハ「債權又ハ所有權ニアラサル財產權ハ二十年間之ヲ行ハサルニ依リテ消滅ス」債權ハ十年間行ハナケレハ消滅時効ニ爲ルノデアアル、貸借ノ如キモノハサウナルノデアアル、ツレカラ債權デナイ、又ハ所有權デナイ財產權ト云フモノハ、矢張原案ノ通二十年行ハナケレバ消滅スルノデアアル、斯ウ云フヤウニ區別ヲ致シマシタノデアアル、次ニハ第七十一條——第七十一條ニハ唯「事件終了」ト云フ文字ニ修正ニ爲リマシタ、即チ「裁判」ト云フ字ヲ止メマシテ「事件終了」ト云フ四ツノ文字ニ變リマシタノデアアル（六百六十八條ト呼フ者アリ）間違ッタカラ後トデヤリマセウ、今ハ七百七十一條ニ就イテノ御報道デゴザイマシテ、事件ノ終了ト云フコトニ爲ツテ居ルノデアアル、此事件ノ終了ト云フノハ元ノ通裁判ノ時ヨリト云フコトニナルト、實際ニ不都合ナル事ガアルノデアアル、例ヘバ裁判セズニ和解等ガ出來タ時分ニハドウスルカ、斯ウ云フヤウナ事モゴザイマスカラ、寧ろ事件ノ終了ト云フ方ガ萬端ニ涉ルデアラウト云フガタメニ、事件ノ終了ト云フコトニ爲ツタノダ、ツレカラ六百六十八條——御報道ガ前後致シマスガ、六百六十八條ニモ修正ガアルノデアアル、六百六十八條ハ六百六十七條ノ修正ニ爲リマシタ「結果トシテ、右ノ如ク修正ニ爲ラナケレバナラヌノデアアル」結果トシテ、右ノ如ク七百七十一條ヲ修正シタダケデハ、此六百六十八條ノ如キ修正ニハナラヌノデアアル、幾分カ六百六十八條ノ中ニハ二十年間云々トゴザイマスカラ、是等ハ原案トハ餘程違ツテ居ルノデアアル、併ナガラ大體ハ六百六十八條ハ六百六十七條ノ修正ノ結果ト見テ宜シイト考ヘル、次ハ百九十五條——百九十五條ニ原案ニ於テハ二十日以内——「逃失ノ時ヨリ二十日以内」物ガ逃ゲタ時ヨリ二十日以内ト云フコトニ爲ツテ居リマスガ、二十日デハ少イ、一箇月ガ宜シイト斯ウ云フ議論デゴザイマスカラ一箇月ニナツタ、デ、併ナガラ其出所ハ何處ニアルカト言ヘバ、現在ノ既成民法ニ於テハ一箇月ト爲ツテ居リマスカラ、其方ガ宜シイト云フコトデ斯ウナリマシタノデアアル、矢張出所ハ正シイ所ニゴザイマスノデアアル、百七十三條ガアル、百七十三條ノ一號ト二號ト但書以下ヲ削リマシタノデアアル、是ハ其削ツタ趣意ハ斯ウ云フヤウニ書イテ置クト云フト、此七十三條ノ一號、二號ト云フモノハ詰リ二年間デナイ、或ハ前ノ六百六十七條ノ十年間トカ、又ハ二十年間ト云フ中ニ這入ルト云フヤウナコトニハナリハシナイカト云フ疑ガアルト云フヤウナコトデアアリ、又サウデナクシテ此等ノ事ハ商法ニ於テ幾分カ規定スベキモノデアアルトスルナラバ、幾分カ年限ハ少クナルデアアラウガ、サウ云フコトデアレバ、別ニ茲ニ記載シテ置カヌデモ宜カラウデアアル、旁々以テ百七十三條ノ一號ト二號ト但書ハ削ツタ譯デアアル、是ヨリハ二百八十八條——二百八十八條ニモ十文字程修正削除ニ爲ツテ居ルノデアアル、デ「土地ノ所有者ハ」下ヘ「直チニ」ト云フ三字ヲ茲ニ所有者ノ下ヘ入レマシタ、而シテ原案ノ「疆界又ハ其近傍」ト云フ八字ヲ削ツタノデアアル、此「直チニ」ト云フコトヲ入レマシタノハ「土地ノ所有者ハ雨水ヲ鄰地ニ」云々ト書イテアルト、或ハ大層遠イ部分デモ、サウ云フコトガ出來ナイト家根ヲ拵ヘルコトガ出來ナイ杯ト云フコトガ起ツテハ困ルカラ、即チ「直チニ」ト云フ字ヲ入レルト云フガ便利ナヤウデアアルカラシテ「直チニ」ト云フ字ヲ入レヤウ——直グト云フ字ヲ入レナケレバイカヌト云フガタメニ「直チニ」ト云フ字ヲ入レタ、故ニサウ云フコトニ爲リマス「疆界又ハ其近傍」ト云フ文字ハ不必要ニ爲ルカラ、即チ之ヲ削ツタト云フコトノ結果ニ爲ル、次ハ二百四十條——二百四十條モ是ハ原案ニ於テハ六箇月ト云フコトニ爲ツテ居リマスガ、是ハ一年——遺失物ハ一年ト云フコトニ爲ツタ、ツレデ現在ノ法ガ矢張一年ニ爲ツテ居リマスカラ、強テ之ヲ六箇月ニスルノ必要モナイ、即チ現在ノ法デ構ハヌ、斯ウ云フコトカラ六箇月ヲ一年ニ致シタノデアアル、サウシテ次ニハ二百四十一條——次ノ條デゴザイマス、次ノ條ハ前ノ條ノ既ニ一年トシタ以上ハ、原案ノ通デハ意味ガ通シマセヌノデアアル、從テ修正ノ如クシナケレバ意味ガ通シマセヌカラシテ、詰ル所修正ノ如ク二百四十條ノ修正ノ結果ト致シテ、二百四十一條ガ修正ニ爲リマシタノデアアル、ツレデ一寸御注意致シテ置キマスガ、此印刷ノ——御手許ニ在ル印刷ニ依ルト、此二百四十一條ヲ二項ニ書イテゴザイマスガ——但書以下ヲ一項トシテゴザイマスガ、ツレハ矢張其前ノ項ニ續クノデアアル、別ニ項ヲ改メベキモノデアナイノデアアル、是ハ印刷ノ誤デアアル、ツレカラ次ハ二百五十三條、二百五十三條ノ二項中ノ六箇月ヲ一年ニ致シマシタ、是ハ共有者ノ事デアツテ、矢張前二年ヲ改メテ長クシタリ短クシタ結果トシテ、共有者ノ如キモノモ、一年デ宜シイト云フコトカラ一年ニ改ツタノデア、別ニ他ニ意ノアル譯デアナイ、ツレカラ次

十日以内ト云フコトニ爲ツテ居リマスガ、二十日デハ少イ、一箇月ガ宜シイト斯ウ云フ議論デゴザイマスカラ一箇月ニナツタ、デ、併ナガラ其出所ハ何處ニアルカト言ヘバ、現在ノ既成民法ニ於テハ一箇月ト爲ツテ居リマスカラ、其方ガ宜シイト云フコトデアスウナリマシタノデアアル、矢張出所ハ正シイ所ニゴザイマスノデアアル、百七十三條ガアル、百七十三條ノ一號ト二號ト但書以下ヲ削リマシタノデアアル、是ハ其削ツタ趣意ハ斯ウ云フヤウニ書イテ置クト云フト、此七十三條ノ一號、二號ト云フモノハ詰リ二年間デナイ、或ハ前ノ六百六十七條ノ十年間トカ、又ハ二十年間ト云フ中ニ這入ルト云フヤウナコトニハナリハシナイカト云フ疑ガアルト云フヤウナコトデアアリ、又サウデナクシテ此等ノ事ハ商法ニ於テ幾分カ規定スベキモノデアアルトスルナラバ、幾分カ年限ハ少クナルデアアラウガ、サウ云フコトデアレバ、別ニ茲ニ記載シテ置カヌデモ宜カラウデアアル、旁々以テ百七十三條ノ一號ト二號ト但書ハ削ツタ譯デアアル、是ヨリハ二百八十八條——二百八十八條ニモ十文字程修正削除ニ爲ツテ居ルノデアアル、デ「土地ノ所有者ハ」下ヘ「直チニ」ト云フ三字ヲ茲ニ所有者ノ下ヘ入レマシタ、而シテ原案ノ「疆界又ハ其近傍」ト云フ八字ヲ削ツタノデアアル、此「直チニ」ト云フコトヲ入レマシタノハ「土地ノ所有者ハ雨水ヲ鄰地ニ」云々ト書イテアルト、或ハ大層遠イ部分デモ、サウ云フコトガ出來ナイト家根ヲ拵ヘルコトガ出來ナイ杯ト云フコトガ起ツテハ困ルカラ、即チ「直チニ」ト云フ字ヲ入レルト云フガ便利ナヤウデアアルカラシテ「直チニ」ト云フ字ヲ入レヤウ——直グト云フ字ヲ入レナケレバイカヌト云フガタメニ「直チニ」ト云フ字ヲ入レタ、故ニサウ云フコトニ爲リマス「疆界又ハ其近傍」ト云フ文字ハ不必要ニ爲ルカラ、即チ之ヲ削ツタト云フコトノ結果ニ爲ル、次ハ二百四十條——二百四十條モ是ハ原案ニ於テハ六箇月ト云フコトニ爲ツテ居リマスガ、是ハ一年——遺失物ハ一年ト云フコトニ爲ツタ、ツレデ現在ノ法ガ矢張一年ニ爲ツテ居リマスカラ、強テ之ヲ六箇月ニスルノ必要モナイ、即チ現在ノ法デ構ハヌ、斯ウ云フコトカラ六箇月ヲ一年ニ致シタノデアアル、サウシテ次ニハ二百四十一條——次ノ條デゴザイマス、次ノ條ハ前ノ條ノ既ニ一年トシタ以上ハ、原案ノ通デハ意味ガ通シマセヌノデアアル、從テ修正ノ如クシナケレバ意味ガ通シマセヌカラシテ、詰ル所修正ノ如ク二百四十條ノ修正ノ結果ト致シテ、二百四十一條ガ修正ニ爲リマシタノデアアル、ツレデ一寸御注意致シテ置キマスガ、此印刷ノ——御手許ニ在ル印刷ニ依ルト、此二百四十一條ヲ二項ニ書イテゴザイマスガ——但書以下ヲ一項トシテゴザイマスガ、ツレハ矢張其前ノ項ニ續クノデアアル、別ニ項ヲ改メベキモノデアナイノデアアル、是ハ印刷ノ誤デアアル、ツレカラ次ハ二百五十三條、二百五十三條ノ二項中ノ六箇月ヲ一年ニ致シマシタ、是ハ共有者ノ事デアツテ、矢張前二年ヲ改メテ長クシタリ短クシタ結果トシテ、共有者ノ如キモノモ、一年デ宜シイト云フコトカラ一年ニ改ツタノデア、別ニ他ニ意ノアル譯デアナイ、ツレカラ次

ハ二百六十八條、二百六十八條ハ地上權ノ事デゴザイマスガ、二百六十八條ノ二項ニ地上權ノ事ガ規定シテアル中ニ、十年以上五十年以下トゴザイマス、其地上權ヲ二十年以上五十年以下ト云フニ十年餘計ニスルコト云フコトニ爲ルノデアアル、是ハ次ノ永小作ノ方カラ論ヲ立テルト能ク分ルコトデゴザイマスカラシテ、次ノ永小作ノ方ニ參テ此事モ御話致サウト思ヒマス、即チ次ノ永小作ハ二百七十八條デアアル、二百七十八條ノ永小作ノ存續期間ト云フモノヲ、元ハ十年トゴザイマシタノヲ二十年ト致シタノデアアル、我國ノ今マデノ慣例ニ依リマスルト、永小作ハ大抵二十年以上ヲ以テ永小作ト云フコトニ爲ル、幕府ノ例杯モサウナツテ居ルカラ、然ルニ之ヲ十年トスル必要モナイデハナイカト云フノデ、即チ舊慣ノ通り二十年ニシテ宜カラウト云フ所カラ、永小作ノ期限ヲ二十年ト致シタノデアアル、從テ地上權ノ如キモノモ、矢張永小作ガサウナツタナラバ地上權モ十年ト二十年トスルガ相當デアルト云フガタメニ、二百六十八條ノ二項ハ十年ト二十年ト改メタノデアアル、二百九十一條、二百九十一條ニハ第二項ト云フ字ガ這入ルノデアアリマス、百六十七條ニハ原案デハ一項デゴザイマシタケレドモ、先程御報道致シタ如ク、二項ニ債權ハ十年トシ、債權若クハ所有權ニアラザル財產權ハ二十年ト致シタノデアアル、二項ニ分ツタ以上ハ、此二百九十一條ノ部分ハ、二項カ一項カ何レノ部分ニ這入ルカト云フ疑ガナイトモ言ハレナイト云フガタメニ、第二項ニ這入ルノデアアルト云フガタメニ、第二項ト云フ字ヲ入レタノデゴザイマス、ウレヨリ三百四條、是ハ先程報道シマシタ「ガ」ノ「ト」爲ツタト云フコトハ報道中ニシテ置イタ、三百四十八條ノ次ニ一條ヲ設ルノデアアル、即チツレヲ以テ三百四十九條トスルノデアアル、ツレハ既ニ御手許ニアル書面ノ中ニゴザイマス通、是ダケ修正ヲ挿入致シマシタ、一條ヲ挿入致シタノデアアル、是ハドウ云フ意味デアアルカト言ヘバ、原案デハ此質ハ流レニスル、流質ヲ許シテ居ルノデゴザイマス、然レドモ我國ノ今マデノ幕府ノ時分ハ率ザ知ラズ、今日明治以來ノ慣例ヲ見マスルト、質ハ流レニセズシテ、即チ之ヲ公賣スルトカ、其他ノ方法ヲ以テ、而シテ其負債ハ返ス、若シ剩リテ居ルナラバ返ストカ、少カクナラバ別ニ返スコトニ爲ツテ居ルカラ、甚慣習ヲ入レテ即チ流質ニスルト云フコトハイケマイ、又道理ニ於テハ隨分議論ノアルコト、考ヘマスカラシテ、即チ是モ矢張今マデノ慣習ノ如ク流質ニシナイデアアツテ、流質ニスルト云フコトノ契約ヲ許サナイト云フコトニ致シタノデアアル、次ニ報道致スノハ三百六十三條中ニ、是ハ印刷モ少シク間違ッテ丸バカリデハナイ、丸ヲモウ一ツ書カネバナラヌ、バカリデハナイ、條項バカリデハナイ所モ少シアル、其二項ヲ加ヘマシタ「前項ノ規定ハ記名株式ニハ之ヲ適用セス」ト云フコトヲ入レマシタ、是ハ實業界アタリデ今日ノ慣習ハ原案ノ如キモノデナイ、若シ原案ノ如ク規定シタナラバ、非常ナル實業界ニ影響ヲ來スト云フコトデアアツテ、即チ原案ノ通ニ致スト、記名ノ株券ヲ抵當ニ致ス時分ニハ、其會社ヘ持ッテ往ッテ會社ノ帳簿ニ入レネバナラヌト云フコトニ爲ツテハ、大層差支

ガ起ル故ニ、是デハ困ルト云フコトデアアツテ、委員會ニ於テモ成ル程尤ノ事ダト云フノデ、即チ「前項ノ規定ハ記名ノ株式ニハ之ヲ適用セス」記名ノ株式ハ此限ノ外ナリト云フコトニ致シタノデアアル、從ッテ三百六十四條ハ前項ノ修正ノ結果トシテ「株式又ハ」ト云フト云フコトガ二箇所アリマスモノハ、自然ノ結果トシテ削ラシタモノデアアル、次ハズット飛ンデ三百九十四條ニ但書ヲ入レルコトニナツタノデアアル、是ハ此但書ハ「其貸借カ抵當權者ニ損害ヲ及ストキハ裁判所ハ抵當權者ノ請求ニ因リ其解除ヲ命スルコトヲ得」此原案ダケデアリマスト云フト、抵當權者ニ大層害ヲ與ヘルノデ、抵當權ガアリナガラ或ハ貸借ガ出來テシマツタト云フヤウニ大層害ニナルカモ知レナイ故ニ、抵當權者ヲ保護シナケレバナラヌカラ、即チ斯ウ云フ但書ヲ入レテ置ケバ、抵當權者ノ權ヲ保護スルコトガ出來ルト云フノデ、唯今讀上ゲタ文字ヲ茲ニ修正ノ結果トシテ入レマシタノデアアル、茲ニ「同一」ト云フ字カ「全員」ト爲ツタト云フコトガゴザイマス、是モ矢張先例ニ依リテ「同一」モ「全員」モ同シ事デゴザイマスカラ前ニ申シタ通デゴザイマス、ツレデ五百九十九條「後トハ五百九十九條マデ何ニモナイト思ヒマス、五百九十九條ニ但書ヲ入レタノデゴザイマス、此但書ハ「其債權カ第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此限ニ在ラス」是ハ前ノ百十七條是ト同シヤウナ所ガゴザイマスノデ、矢張百十七條ノ物權ノ部分ニ「同一物ニ付キ所有權及ヒ他ノ物權カ同一人ニ歸シタルトキハ其物權ハ消滅ス但其他物又ハ其物權カ第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此限ニ在ラス」斯ウ云フ事ガアリマシテ、一人ノモノニ歸シタラ消滅シテシマフ、併ナガラ其物ガ第三者ノ權利ノ目的ト爲リ、或ハ他ニ權利ヲ持ッテ居ル人デアアルトキハ消滅ハシナイト書イテアル、然ルニ五百九十九條ニハ書イテナイ、サウスルト第三者ノ權利ガアラウガナカラウガ、消滅スルヤウニ見エマスカラ「但第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此限ニ在ラス」斯ウ云フコトヲ入レナケレバ即チ害ガアルト云フノデ、五百九十九條ノ修正トシテ但書ヲ入レタノデアアル、ツレカラ次ハ五百五十四條「五百五十四條ニハ即チ買買ノ所デゴザイマスガ、其中ニ或ル權利ト云フコトガ書イテアルノデゴザイマス、買買當事者ノ一方ガ或權利ヲ相手方ニ移轉スルコトヲ約束シ云々ト書イテアル、此或權利ト云フモノハ餘程疑ガ生ズルモノデアアル、選舉權デモ何シデアアルト云フヤウナ事ガアル、種々ナ事ガゴザイマスカラ、即チ總テ權利デハナイノデアアル、財產ト云フモノデナケレバナラヌノデ——買ルベキモノハ財產權デナケレバナラヌト云フノデ「或權利」ト云フコトヲ止メマシテ「財產權」ト修正致シマシタノデゴザイマス、デ、次ハ五百七十九條、是ハ買戻ノ期限ノ事デゴザイマス、原案ハ五年トゴザイマスガ、買戻シノ期限ヲ五年ト限ルハ短カ過ギル、今日ノ仕來リニ依ッテモ短イノデアアルカラ、是ハ十年トセナケレバナラヌト云フコトニ爲ッテ、十年ト致シマシタ、サウ致シマスト第三項ノ期限ノナイ時分ハ——買戻ノ期限ノナイ時分ニハ、原案デハ二年ト爲ッテ居リマスカラ、前ガ十年トナツタ以上ハ、是モ五年トシナケレバ平衡ヲ得ナ

イノデアル、斯ウ云フ譯カラシテ三項ハ「二年」ヲ「五年」ト直シ、前ハ即チ「五年」ヲ「十年」ト致シタノデアル、次ハ六百三條、六百三條ハ貸借ノ所デゴザイマスガ、貸借ノ期限ト云フモノハ十年ト云フノハ原案デゴザイマスガ、是ハ矢張二十年トシナケレバナラヌ、即チ永小作ニ於テ二十年以上ニ爲テ居テ、地上權ニ於テ二十年以上ト修正致シタ以上ハ、貸借ハ二十年トシナケレバナラヌ、即チ二十年以下トシナケレバナラヌト云フ譯カラ「十年」ヲ「二十年」ト致シマシタ、ソレハ六百三條ニ二處ゴザイマス「十年」ヲ「二十年」ト致シタ所ガ——ソレカラ六百十六條——六百十六條ニハ貸借ノ期限ノ定メテナイモノハドウスルカト云フコトノ規定デゴザイマスガ、其中ニ第二號——第二號ニサウ云フ時分ニ建物ニ就イテハ一箇月ト云フコトニナツテ居ル、建物ニ就イテ一箇月ト爲テ居ルノハ餘リ短カ過ギル、又前ノ慣習ヲ見テモ三箇月位ニ爲テ居ル處ガ多イカラト云フコト一箇月ヲ三箇月ニ致シタノデアル、次ハ六百三十六條——六百三十六條ニ一項ヲ加ヘタノハ「仕事ノ目的物ノ引渡ヲ要セサル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ仕事終了ノ時ヨリ之ヲ起算ス」其原案ニハ仕事ノ目的物ノ引渡ヲ要セザル部分ノ起算點ガナイノデアル、而シテ此ノ六百三十六條ニハ其事ガゴザイマスノデアル、六百三十二條ノ但書ノ中ニ物ノ引渡ヲ要セザルトキハ云々ト云フ事ガゴザイマス、サウスルト、引渡ストキニハドウト云フ期限ガアツテ、引渡サナイ時分ニハドウト云フ期限ガナイノデアルカラ、矢張是ハ前ノ六百三十二條ノ如ク引渡ヲ要セナイトキニ期限ヲ此所ニ規定シテ置カナケレバナラヌト云フコト、其時分ニ仕事ノ終了ノ時ヨリ起算スルト云フコトニ致シタノデアル、ソレカラ次ハ六百四十九條——四十九條ノ第二項——第二項ニ文字ヲ入レマシタノデ「受任者カ」ト云フ下ニ「委任事務ヲ處理スルニ」ト云フ文字ヲ入レタノデアル、是ハ前ノ項ニモ後ノ項ニモ斯ウ云フ處ニハ「委任事務ヲ處理スルニ」ト云フコトガアツテ、獨リ此第二項ニ於テ委任事務ヲ處理スルト云フコトガナイト、大層疑ガ生ズルト云フコト、即チ「委任事務ヲ處理スルニ」ト云フコトヲ此所ニ入レマシタノデアル、次ハ第三編ノ第十一章第十二節以下デゴザイマス、是ハ大層修正ガゴザイマスケレドモ、所謂竹ヲ裂クガ如ク分カルト考ヘル「會社」ト云フコト「組合」ト云フコトニ致シマシタ「會社」ヲナゼ「組合」ト致シタカト云フト、或ハ株式會社トカ何トカ、商法上ノ會社又ハ法文ノ如ク見エルト云フ考ヘヨリシテ、何カ宜キ文字ハ無イカ、此趣意ニ合スル所ノ文字ハアルマイカト考ヘタ所デ「會社」ヲ「組合」ト致シタ、是ハ昔カラ用ヒテ居ル文字デアツテ、俗文デハアルガ面白イト云フコト「組合」ト致シマシタ、ソレデ其以下ニ「社員」等ノ字ガアルガ「會社」ガ改メタカラ「社」ノ字モ使ハレナイ、何カ相當ノ文字ヲ加ヘナケレバナラナイ、ソコデ「社員」ハ「組合員」ト致シマシタ、ソレカラ「退社」トアルノヲ「脱退」ト云フコトニ改メタ、其他ハ其理由ニ依ツテ皆修正ニ爲ツテ居リマス、尙ホ御注意申セバ目錄ノ中ノ唯今ノ三編第十二節ノ中ノ「會社」ト云フ文字ガ舊ニ返ツテ、矢張「組合」ト直

テ居リマス、唯今報道致シマシタノハ、即チ委員會ニ於テ削除若クハ挿入其他修正ヲ致シマシタル大體ノ事デゴザイマス、尙ホ少シク申上ゲタイト考ヘルノハ、委員會ニ於テ修正致シタル所ノ跡即チ跡ヨリ見マスルト、斯ウ云フヤウナ方針ニ爲ツテ居ルト思ハレルノデアル、是ハ固ヨリ委員會ニ種々トコトデハゴザイマセヌガ、私ガ委員長トシテ申上ゲテ相當ト考ヘル、即チ修正シタ跡カラ云フト、ドウ云フ方針デアツタカト云フト、二ツノ方針ガアルヤウニ見エルトデアル、修正ノ方針ハ學說ダノ法理ダノト云フ如キモノハ、海ノ東西ヲ問ハナイ、殆ド時ノ古今ヲ問ハズ、大抵一體致シテ居ルモノデア、サレバ區々ニソレヲ修正スルノ必要ハ生ジナイノデアル故ニ、學說法理ノ如キモノハ多ク修正致サナイト云フコトニ其跡カラ見マスルトナツテ居リマス、而シテ修正致シタモノハ多クハ實際ノ便否——實際ニ於テ不便不都合ト云フヤウナ事カ、又ハ現行法律ト大ニ合ハナイ處ガ——現行慣習ト大ニ合ハナイト云フ處、サウ云フヤウナモノヲ修正致シタコトニ爲ツテ居ル、今其一二ヲ擧ゲテ見レバ、例ヘバ消滅時效ヲ「二十年」ヲ「十年」ト致シタ如キハ、我國ノ地租期限律ヲ見レバモット短イ、ソレデアアルカラ現在ノ法律ト今度ノ原案トハ大層違ツテ居ル所カラ、サウ云フコトニ致シマシタ、又失踪ノ如キモノヲ「十年」ヲ「七年」ト致シマシタノハ、我國ノ法律デ申セバ三年デア、餘リ十年デハ多イト云フ所カラ、七年ト致シマシタ、ソレカラ期間ノ如キモノモ我國ノ有様カラ見レバ、四時ガ一分過ギテモ出來ナイト云フテハ大變困ルカラ、サウ云フコトハ德義上ニ任セタ方ガ宜イト云フコトニ致シマシタ、又商業ノ方デ申セバ、記名株式ノ如キモノ、一々質ニ入レルト一々會社ノ帳面ニ附ケナケレバナラヌト云フナラバ、今日ノ委任狀ヲ附ケテ轉讓シテ往クコトガ出來ナイ、是ニハ弊ガゴザイマセウガ、今日ノ勢カラサウナツテ居リマス、之ヲサウ云フヤウニ極メルノハ宜クナイト云フ譯デゴザイマシタ、即チ調査ノ方針ヲ跡ヨリ見レバ、前申ス如キ二條ニ依ツテ居リマスモノト私ハ認メルノデゴザイマス、尙ホ念ノタメニ少々諸君ニ此現在今議題ニ爲テ居リマス所ノ法案ニ就イテ、御報道致シテ置カウト思ヒマス、此法案ヲ見マスルノニ、今日既成法典ト致シテ延期ニ爲ツテ居ル、法典ヲ土臺ト致シテ、ソレニ英吉利——英ト獨ノ法理ヲ加味致シタモノト私ニハ見エルトデア、詰リ英法、獨法ノ統系ヲ佛蘭西ノ系統ニ加ヘタコトデアラウト考ヘルノデア、ソレカラ體裁ヲ見レバ獨逸ノ民法草案ニ能ク似テ居リマス、併ナガラ中ノ寧口佛蘭西ノ方ガ多クシテ、ソレニ幾分カ獨逸、英吉利ノ法ヲ加味致シタモノ、ヤウニ考ヘル、ソレデ或ハ民法ト既成民法ニハ證據法ト云フヤウナモノヲ民法ノ中ニ入レテゴザイマスケレドモ、今度ノニハ別ニ訴訟手續ノ中ニ入レルコトニ爲ツテ居ル、又時効ノ如キモノヲ、既成民法デハ財產ノ證據ニ取ツテ時効ヲ證據ト云フヤウナコトニ爲ツテ居リマスケレドモ、今度ノ原案デハ、財產ヲ收得スル一ノ方法、消滅スル一ノ方法トシテ居リマス、ソレカラ此箇條ガ既成法典ト今ノ原案トヲ比ベルト半分位ニ爲ツテ居ル、既成法典

ハ千三百幾條、是ハ七百幾條ニ爲テ居ル、是ハ包括ノ主義ヲ取テ居リマス、而シテ適用ハ既成民法ヨリ多クナリテ、所謂裁判官ニ大ニ斟酌ノ力ヲ與ヘルコトニ爲テ居ル、ソレカラ法文ノ如キ既成民法ハ所謂借居等ノ文章ニ爲テ讀悪イ、是モ隨分無イトモ言ヘマセヌケレドモ、既成民法ト較ブレバ誠ニ平易ニシテ俗ニ近イ俗文ニ近イト云フコトニ爲ル、眞ニサウ云フ事ハ注意致シテ處ト見エルノデアアル、ソレカラ、既成民法ハ此定義ト云フ始終一ツノ事ニ就イテ注釋ヲ致シマヤウナ處ガアル、又ハ當然ノ事ヲ色々ニ書イテアル處ガアル、サウ云フヤウナ事ハ皆省カレテ、解釋ノ如キ定義ノ如キモノ當前ノ——當前ノ事ノ如キコトハ書イテナイ、ソレカラ又公法ト私法トノ定義ニ關スルモノハ、成ルタケコ、ニ避ケテアルヤウニナツテ居ル、ソレデ又既成民法ヨリハ慣習ヲ採用シテ事ガ多イノデアアル、殊ニ第九十二條ノ如キモノハ慣習ヲ採用スルト云フコトガ明ニ書イテアル法令ニ違ハナイ慣習ナラバ、採用スルト云フ事ガ書イテゴザイマス、此他既成民法ト、此民法トハ隨分較ベマスルト是非スル所ガアリマセウトハ思ヒマスガ、大體ニ就イテハ此度ノ民法ハ則チ修正シタルダケノ效能ハアルト、私ニ於テハ認ムルノデアアル、ソレテ尙ホ一應諸君ニ申上ゲテ置キマスガ、此既ニ調査會ニ於テ——法典調査會ニ於テモ相當ナル人々ガ調ベテ居リ、尙ホ此我院ニ於テ選マレタル所ノ委員會ニ於テハ、法律家ヲ以テ居ラレル人、或ハ所謂法律專門人、或ハ實業ノ人、若クハ老練ノ御人ヲ諸君ガ選マレタラウト思フ、成ル程時日ハ短カウゴザリマスガ、其時日ニ對シテハ實ニ相當ナル審査ヲ致サレタト考ヘルノデアアル、前申ス如ク朝モ早クヤリ、夕モ遅クマデヤルト云フモノハ、諸君ノ付託ニ負カナイト云フニ就イテ、隨分委員會ノ諸君ハ御骨折ト申シテ私ハ決シテ間違ナイト思ヒマス、サレバサウ云フヤウニナツテ居リマスカラシテ、固ヨリ委員會諸君ニ於テハ責任ヲ以テ修正ヲ致サレタノデゴザイマスカラシテ、諸君ニ於テハ成ルタケ早ク之ヲ結了サレンコトヲ、即チ希望致スノデアアル、ソレノミナラズ何レ此民法、如キ浩瀚ノモノハ、一度極メタカラト云フテ、ソレガタメニ數世、數百年必シモ變ヘルコトノナイト云フコトハ言ハレナイ、又不都合ノ點ナシトモ言ハレナイ、即チ外國ノ例ニ依ツテ見テモ、隨分是ハ數年ナリ數十年ヤツテ、誠ニ是ニ就イテハ缺點ノ無イモノトシテ發布致シタモノガ、直ク翌年カラハ都合ノ惡ルイト云フヤウナ例モアルノデアアル、故ニ英吉利アメリノ例ニ依ルト、法典ハ往ケナイト云フヤウナ論ハ此點カラデアリマス、ソレデゴザイマスカラシテ何レ發布致シタ上デ、宜クナイ所ハ修正スルヤウナ結果ニ相成ララウト考ヘルノデゴザイマスカラ、或ハ調査委員ト云フヤウナモノヲ設ケラレテ、始終サウ云フヤウナ宜クナイ所ヲ見テ居ッテ、修正ヲ致シテ完全ノモノニシナケレバ、一朝一夕ニ完全ニシヤウト云フコトハ、幾ド及バナイト私ハ考ヘテ居リマスカラ、既ニ私共ノ審査ヲ致シタル所ノ委員ノ勞ヲ空シクサレナイヤウニ致シテ、速ニ可決セラレルヤウニ希望致シマス、因テ委員會ノ御報道ヲ茲ニ述ベ置キマス

- 高木正年君(百二十九番) 委員長ニ一寸御尋ヲ致シマスガ、此三百六十四條ノ御修正ニ爲リマシタノハ、此御修正ハ私共記名ノ株式ヲ適用シナイト云フコトハ、委員會ノ趣意ニ贊成ヲ致シタノデアリマスガ、單リ此私共ノ記名ノ株式ヲ除イタノミデハ満足シナイノデ、其質問ヲ少シ申シテ事柄ヲ申シテ、ソレノ御答ヲ願ヒタイト思フ、三百六十四條ニ記名ノ株式アルノハ、原案ニ依リマスルト非常ニ經濟社會ニ影響ヲ起スノデアアル、從來此擔保ニ取テ居ル所ノ株券ト云フモノハ、此法條ガ行レルトキハ、再割引ヲ爲スコトガ出來ナイタメニ、委員會デ株式ト云フコトハ除イタコトニ思ヒマスガ、サリナガラ記名ノ株式ノミヲ除イタコトテ、債券ト云フモノニ就イテ社債ニ就イテノ規定ガ、矢張斯様ナ嚴密ナコトニ相成ツテ居ッテ、會社ノ社債ハ登記ヲ經ナケレバ質權ノ目的ヲ達シナイト云フコトニ爲リマスナレバ、今日以來總ノ事業ガ非常ニ膨脹シテ參ッテ、寧ロ株券デ募ルヨリハ社債券デ募ル方ガ、事業ノタメニ宜シイト云フコトニ爲ツテ參ッテ、斯様ナ六ヶ敷イ規定ヲ置クト云フノハ私ハ甚ダ不都合ト思ヒマス、委員會ガ既ニ記名ノ株式ト云フコトヲ除カレタメニ、三百六十三條ニ一項ヲ加ヘテ記名ノ株式ヲ適用スルト云フ法理ヲ加ヘラレタ精神カラ推シテ見マスルト、矢張會社ノ社債券ハ斯様ナ嚴シイ手段ヲ致サズトモ今マデノ如ク……質權ノ目的ヲ達スルヤウニシヤウト思フノデアリマスガ、委員會ニ於テハ會社ノ債券ニ就イテハ、法律ノ如キ嚴シキ手段ヲ執ルノヲ相當ト御認メニナツタノハ、ドウ云フ譯デアルカ、其點ヲ御尋シマス
- 星亨君(八番) 委員會デサウ云フコトガ有ツタカ無カツタカト云フコトデスカ、或ハ私一己ノ意見ヲ御尋ニナルノデスカ
- 高木正年君(百二十九番) 委員會デハ既ニ記名ノ株式ト云フコトヲ除イタニモ拘ラズ、尙ホ會社ノ債券ニ就イテハ質權ノ目的ヲ達スルタメニハ、登記ヲ經ナケレバナラヌト云フ嚴密ナ規定ヲ殘シテ置イタノハ、前ノ記名ノ株式ヲ除イタニモ拘ラズ尙ホ會社ノ債券……
- 星亨君(八番) 登記ヲ經ルト云フヤウナ事ハ書イテアリマセヌゼ
- 高木正年君(百二十九番) 是ヲ讀ンデ見ルト分カル、三百六十四條今修正ニ爲ツタ所デ記名ノ株式……
- 星亨君(八番) ソレハ登記デハナイデセウ
- 高木正年君(百二十九番) 登記デハナイガ、三百六十四條ニ於テ……
- 星亨君(八番) 宜シイ、ソレデ今高木君ノ御問ハ委員會ニ於テハサウ云フ議論ハ出テ居ラヌノデアアル、而シテ是デ宜シイト云フノハ誰ガ言ツタカト云ヘバ、委員ノ一人即チ實業界ニ明ルイ所ノ中野君ガ是デ宜シイト云フコトデアアルノデゴザイマスカラ、若シ深く御聞キニナルナラ、中野君ニ御聞ヲ願フノデアアル、宜シウゴザイマスガ
- 宮崎榮治君(二百八十二番) 私ハ政府委員ニ一ツ御尋ヲ致シマス
- 中島又五郎君(二百九番) 委員長ニ御尋シマスガ、今ノ御報告ハ少シ誤

テハ居リマセヌカ、百六十八條ノ最後ノ辨濟ト云ノハ二項ニ爲テ居ルガ、一  
項デハアリマセヌカ、一、項ニ爲ルデハアリマセヌカ

○星亨君(八番) 左様デス、是ハ報告ヲ忘レタノデ、一項ニ爲ルノデス

○宮崎榮治君(二百八十二番) 唯今議題ニ爲ッテ居リマシムル政府ヨリ提出セ  
ラレマシムル民法修正案ノ理由書ナルモノハ本案ノ末ニ附シテアルガ、各編各  
條ノ修正ノ理由ト云フモノハナイノデアリマス、ソレデ是ヲ一々此處ニテ御  
尋テ致スト云フコトハ、誠ニ錯雜ニ渉ル、特ニ時間モ徒ラニ費スコトデアラ  
ウ、ソレデ政府委員ハ議會全體ニ向ッテ理由書ナルモノヲ配付セラル、コト  
ハ出來マセヌカ

○小室重弘君(八十八番) 修正案ニ對スル反對贊成ノ通告ハアリマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 贊成反對三名アリマス

○木村格之輔君(三十二番) 本員ハ政府委員ニ御尋シマスガ、此成案ハ親族  
法、相續法ト共ニ實施スルモノデアリマスガ、特別ニ實施スルモノデアリマ  
スカ

(政府委員法科大學教授法學博士穗積陳重君演壇ニ登ル)

○政府委員(穗積陳重君) 唯今ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、既ニ本院ニ於テ  
議決セラレマシムル既成法典延期法案ノ中ノ但書ニ於キマシテモ、修正ヲ終リ  
マシムル部分ヨリシテ特別ニ施行ヲ致スト云フコトガ現レテ居リマス、今回提  
出ニ相成リマシタル民法修正案三編ハ特別ニ施行スルコトヲ得ルモノト考ヘ  
マシムルニ依ッテ、此度提出ニ相成リマシタ譯デゴザイマス、ソレ故ニ特別ニ  
施行ニ相成ル考デゴザイマス

○木村格之輔君(三十二番) 別ニ施行スルト不都合ノ事ガ起リハシナイカト  
思フ、例ヘバ今成案ニ爲ッテ居ル能力杯ノ事ハ、ドウシテモ親族編ニ依ラナ  
ケレバナラヌト思フガ、斯ウ云フモノハ御差支ガナイト云フノデスカ

○政府委員(穗積陳重君) 斯ノ如キ事ハ民法施行條例ガ何レ本案ノ實施ニ爲  
ルマデニハ提出ニ相成リマス、本案實施前ニ若シ親族編ガ提出ニ爲リマセヌ  
場合ニ於キマシテハ、必ズ民法施行條例ノ中ニ其箇條ヲ加ヘテ實施シ、差支  
ナイヤウニ致ス考デゴザイマス

○木村格之輔君(三十二番) モウ一ツ施行條例ハ本期ニ提出スルノデスカ

○政府委員(穗積陳重君) 民法施行條例ハ本案ガ法律ニ相成リマセヌケレバ  
立案スルコトガ出來ナイ、即チ確定ニ爲リマシムル法律ガ動カヌヤウニナツテ  
カラ、其條ヲ立テナケレバナラヌ、大體ノ腹案ダケハゴザイマスガ、未ダ條文  
ヲ法典調査會ノ議ニ掛ケルニハ至ッテ居リマセヌノデアリマス

○宮崎榮治君(二百八十二番) 先ニ御尋シタ如ク、民法各條ノ修正ノ理由ヲ  
知ルコトハ、滿場諸君ノ同感デアラウト思ヒマス、ドウカ御差支ナクバ各條  
項ニ涉ル理由ガアリマシムラバ、御配付アラシコトヲ望ミマス

○政府委員(穗積陳重君) ソレハ御尤ナル御望デアリマスガ、理由書ナルモノ  
ノヲ公ニ致スト云フコトハ、餘程考ヘネバナラヌ事デゴザイマス、固ヨリ何レ

ノ法律デモ同シ事デアリマスガ、其本文ダケテ其趣意ガ分ルヤウデナケレバ  
ナラヌ、理由書アツテ始テ分ル如キ法律デアリマシムラバ、理由書モ法律ニ  
致サナケレバナラヌ譯デゴザイマス、ソレ故ニ委員會ニ於テモ理由書ノ提出  
ノ請求ガゴザイマシタガ、理由書ト名ケテ世間ニ發表致スベキモノハ、法典  
調査會デ出來テ居リマセヌカラ、餘義ナク理由書ヲ提出スルト云フコトハ致  
シマセナンダノデアリマス、唯參考ニ爲リマス書類、是ハ及ブベキダケハ  
委員ニ配付致シテ其參考ニ供シマシムルニ止ッテ居リマスノデアリマス、ソ  
レ故ニ理由書ト名ケベキモノハナイト御答致サナケレバナラヌノデアリマ  
スカ

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ通告順ニ從ヒ演壇ヲ促シマス、木村格之輔君

(木村格之輔君演壇ニ登ル)

○木村格之輔君(三十二番) 諸君、本員ハ當議會ニ於テハ此成案ハ否決シテ  
置クベキモノデアルト存ジマス、併シ唯此成案ガ惡ルイカラ否決スルト云フ  
ノデアリマセヌ、當議會ニ於テハ之ヲ議スベキ餘日ノナイモノデアルカラ、  
否決スルト云フノガ當然デアルト信ズルガ故ニ、其理由ヲ申述ベテ諸君ノ御  
贊同ヲ仰ギタイト思ヒマス、諸君モ御承知通、民法ト云フモノハ即チ我國ノ  
一ノ私法デアリマスガ、財産ヲ保護スルト云フ點ニ於テハ、是ヨリ重キモノ  
ハナイト信ジテ居リマス故ニ、此ヲ議決スルノハ十分ナル審議、十分ナル注  
意ヲ與ヘテ鄭重ニ鄭重ヲ加ヘンケレバ、輒ク議決スルコトハ輕率ニ失スル  
恐ガアルモノト存ジマス、私モ委員ノ一人デアリマスケレドモ、先刻委員長  
ヨリ御報道ニナリマシタ通、議事ヲ開キマシタコトガ十二日間、併シ眞ニ此  
條項ニ就イテ委員會ヲ開クコトハ十一日デアリマス、其十一日ヲ如何ナル時  
間ヲ以テ調査セラレタカト申シマスルト、長イ時間デ四時間、或ハ三時間位  
ノコトモアツタ、故ニ假ニ之ヲ十一日、一日ニ四時間調ベタトシタ所ガ、其時  
間ハ僅カ四十四時間ニサナラナイ、僅カ四十四時間ニ七百二十三條ノ大部分  
ノモノヲ取調ベルト云フコトハ、如何ニ委員中ニハ神様ノ如キ人ガアルニモ  
セヨ、決シテ爲シ得ベカラザル事柄デアラウト存ジマス、(草刈親明君、君ハド  
ウシテ居マシタ晝寝シテ居マシタカト呼フ) マー少シ御聽キナサナイ、假ニ  
委員會ニ於テハ十分ナル取調ヲ終ツタモノデアルト致シマシタ所ガ、今日ヨ  
リ本期ノ議會ノ日數ヲ數ヘテ見マシムルト、十日間アルカナイカデアアル、日曜  
ヲ除クト僅カ九日サナイ、僅カ九日サナイノニ、是ダケノ大部分ノ實ニ日本  
ノタメニ必要ナ大事ナ問題ヲ諸君ガ九日間ニ議スルコトガ出來ルノデアリマ  
スカ、假ニ之ヲ九日間ニ議シ終ルモノトスルモ、貴族院デハ一日モ議スルコ  
トガ出來ナイト云フ事實ニ爲ルノデアリマセヌカ、果シテ斯ウ云フコトニナ  
ルナラバ、世ノ議ヲ免レンタメニ十分ナル取調ヲ爲シ、十分ナル審議ヲ盡シ  
テ是ヲ議決センニハ、勢ヒ本期ノ議會ニ於テハ是ヲ延期シナケレバナラナク  
ナリマス故ニ、本員ハ延期スルト云フ手段ハ即チ否決スルヨリ外ハ道ガナイ  
カラ、否決スルト云フ說ヲ提出シタノデアリマス、尙ホ是ヲ他ノ問題ヨリ

論及致シマスルモ、先刻政府委員ノ答ニモ、此成案ガ法律ト爲テ成立ツタ  
 ナラバ、一部ツツヨリ施行スル積デアルト云フ御答デアリマシタケレドモ、  
 ソレハ甚ダ不完全ナモノデアラウト思ヒマス、諸君ガ御覽ノ通此法案ハ第一  
 編ガ總則デ、第二編ガ物權、第三編ガ債權ト云フノニ別レテ居ル、是ヲ完全  
 ニスルノニハ尙ホ親族法、相續法、證據法ノ一部、即チ民事訴訟法ヲ以テ定  
 ムルト云フコトデアアル、其他商法ニモ關聯シテ居リマスシ、又登記法ニモ關  
 聯シテ居ルデアアルデ、此全キヲ得テ全キ法律ヲ拵ヘントスルニハ、以上ノ  
 モノガ完全シテ始テ瑕瑾ノナキ法律ガ出來ルノニモ拘ラズ、不完全ノ儘即チ  
 一部ヲ施行スルト云フニ至ツテハ、本員ハ贊成スルコトガ出來ナイノデゴザ  
 イマス、何故ト申シマスルニ、此成案ノ中ノ第二節ノ能力ヲ云フ場合ニ行キ  
 マスト、此能力ヲ定メルノニハ、ドウシテモ親族法ニ依ラナクテハナラナイ、  
 ソレヲ施行條例ヲ定ムルト云フガ如キハ、一時ノ間ニ合セテ永遠ノモノトス  
 ルコトハ出來ナイデアリマス、又商法ニ關聯シテ居ルト云フコトハ、消滅  
 時効ノ部第七十三條杯ニ現ニ關係シテ居ル、其他登記ニ關係シテ居ル事モ  
 アル、又相續法ニ關聯シテ居ルモノモアリマスルカラ、之ヲ完全ノ法律トス  
 ルノニハ、以上ノモノヲ全部拵ヘンケレバ完全ナル法律ヲ作ルコトハ出來ナ  
 イデアリマスカラ、何ヲ今苦テ輕卒ニ七百二十三條ト云フ大部ノモノヲ、  
 向フ九日シカ日數ノナイト云フノニ輕卒ニ之ヲ議決スルト云フガ如キハ、甚  
 ダ國家ノためニ本員ハ憂フル所デアリマスカラ、已ムヲ得ス延期スルノ手段  
 トシテ、此案ハ否決スベキモノデアルト信ジマスカラ、御贊成アラントコトヲ  
 希望致シマス

○星亨君(八番) 木村君ハ確カ委員ノ一人デ、君ガ其際ニ委員會ニ於テハ即  
 チ責任ヲ持ツテ之ヲ提出ヲシテ異論ナイト云フコトニ御同意ノ方ト考ヘマス  
 —サウデアアリマセヌカ

○木村格之輔君(三十一番) 本員ハ不完全ナ取調ト信ジテ居リマス

○星亨君(八番) 其際ハ御議論ハナカッタノデ……

○木村格之輔君(三十一番) 別ニ議論ハ致シマセヌ、議論ハ致シマセヌガ、  
 不完全ナ取調ナリト云フコトハ、先刻申述べタ通デアリマス

○議長(楠本正隆君) 草刈親明君

(草刈親明君演壇ニ登ル)

○草刈親明君(二百三十一番) 唯今民法中修正調査委員會ノ一人ナル木村君  
 之助君(笑聲起ル)誓太郎カ——格之輔君ノ——御名前ハ實ハ存ジ上ゲマセヌ  
 カラ間違ヒマシタ、格之輔君ノ本案ハ延期スベシトノ精神ヲ以テ否決スルト  
 云フ御演說ヲ拜聽致シマシタ、此御演說ガ委員外ノ方ノ發言ニ係ルモノトシ  
 マスレバ私ハ固ヨリ深ク咎ムルト云フ考ハ持チマセヌ、然ルニ木村君ハ委員  
 デアリナガラ、又委員會ガ第三讀會ヲ開ク其日ニ御出席ニ相成ツテ、サウシ  
 テ謂ハハ是デ委員會ガ責任ヲ持ツテ本會ニ報告スルト云フ、其連判帳ニ血  
 判ヲシナガラ、今日ニ至ツテ此調査ガ不十分デゴザイマシタト云フガ如キニ

至ツテハ、木村君ハ何ヲ以テカ三百名ノ諸君、即チ二百九十九名ノ諸君ニ對  
 スルコトガ出來マスカ、無責任モ限ナイ、實ニ無責任ノ極デアアル、即チ木村  
 君ニシテ若シ今日ノ如キ意見ヲ有シ居リタランニハ、何故ニ木村君自身ガ言  
 フガ如ク十有一回ノ委員會ノ其時ニ於テ、一タビ位ハ唯今ノ如キ意見ヲ提出  
 シナイノデゴザイマスカ、自分ガ此法案ハ國家ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ル  
 モノデアアル、又其條項ヲ頗ル浩翰ナルモノデアアルガ故ニ、短日月ヲ以テシテ  
 ハ到底審査ヲ結了スル譯ニハ參ラヌト云フ意見ヲ吐イテ、其意見ガ委員會ニ  
 行レザレバ、今日ノ如キ意見ヲ當議會ニ御差出シニナルノモ當然デアリマセ  
 ウガ、委員會ニ在ッテハ矢張他ノ委員ト同一ニ政府委員ニ對シテ、此條項ハ  
 何ト讀ミマスカ、何ト心得タラ宜ウゴザイマスカト伺ヒ奉ツテ、サウシテ其  
 結果自分モ十分ニ意見ヲ吐露シテ、自分ノ吐露シタ意見ガ遂ニ委員會ノ決議  
 デ採用サレタモノアルニモ拘ラズ、今日ニ至ツテ私ハ分リ申サズ、官判ヲ捺  
 シタト云フノハ、是ガ無責任デナカッタナラバ、天下凡ソ無責任ナルモノハ  
 ドコニ在ルカ、私ハ木村君ニ對シマシテ、餘リ極端ノ言ヲ以テ反駁致シマス  
 ルノハ忍ビマセヌケレドモ、私モ委員デゴザイマスガ故ニ、委員會ノ神聖ヲ  
 保タスガためニ木村君ニ反省ヲ請フノデゴザイマス、木村君ハ言フ、政府委  
 員ニ質問先刻サレマシタ能力ノ事、其他ノ事ハ施行條例ヲ以テ定ムルト云フ  
 ガ如キコトニ揚足ヲ取ラレタ御考デ、喋々廢案ノ理由ヲ御述ニ相成リマシタ  
 ケレドモ、木村君モ御承知ノ通今日ノ刑法ガ施行ニ相成リマシテモ、今日ノ民  
 事訴訟法ガ施行ニ相成ツテ居リマシテモ、矢張施行條例ト云フモノヲ以テ  
 特別ノ法律ヲ定メテ、サウシテズンノヤツテ來テ居ル事ハ、彼ノ民法上  
 今日言フ所ノ親族ノ關係モ施行條例ニ依ツテ——刑法上デ謂フ所ノ親族ノ關  
 係デアアル、其他能力モ刑事訴訟法ニ云フ所ノモノモ、直ニ民事訴訟法ガ實行ニ  
 爲ラヌ中ニ、民事ノ方ニ持ツテ參ツタト云フ譯デゴザイマスルツレバ、木  
 村君ノ如ク長ク久シク當業即チ法律事務ニ從事スル方ガ、今日ニ至ツテ民法  
 ヲ實施スルニ、能力ノ事ヲ施行條例デ當分ノ内定メルノハ不都合ダ——實ニ  
 是ハ聞エナイ、甚ダ御無理ナル私ハ御論辯ト思フ、即チ斯業ニ無責任ニシテ  
 無理ナル事ヲ言ハナケレバ、此民法ノ民法修正案ニ反對スルコトガ出來ナイ  
 ト云フハ、取りモ直サズ是ニ反對スル語ガナイノダ、不理窟ナル所ノ事實ヲ  
 以テ是ニ反對シテ居ル、サウスレバ二百人ノ中木村君ヲ除カレタ外ハ、私ハ木  
 村君ノ如キ御意見ヲ以テ此修正案ニ反對スル方ハナイト思フノデゴザイマス  
 ル、而シテ木村君ハ言フ、此民法ノ修正案ト云フモノハ、七百二十四條ノ長  
 キニ互ツテ居ル浩翰ナモノデアアル故ニ、遺ス所ノ會期僅ニ九日ノ間ニ於テ之  
 ヲ議了スルコトガ出來ナイ、神ニアラザル以上ハ出來ナイ、斯様ニ御斷言ニ  
 ナリマスルケレドモ、木村君其他ノ諸君、能ク御考ヲ願ヒタイ、此法律ハ成  
 ル程修正民法トシテハ、僅ニ一二箇月ノ以前ニ議院ニ提出ニ相成ツタモノデ  
 ゴザイマスルケレドモ、此修正案ノ其土臺ハ何デアアルカ、修正ト云フコトハ  
 何ヲ修正シタモノデアアルカ、何年前ノ法律ヲ修正シタモノデアアルカ、斯様ニ



御考ヘナサイ、サウスレバ明治二十三年ノ二十八號ノ法律ヲ修正スルト云フ  
話デアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、今日ノ此修正案ト云フモノハ明治二十三年ニ  
發布サレテ日本國民全體ガ心得テ居ル所、知ラザルベカラザル所ノ法律其習  
慣ニ背キ其穩當ヲ缺ク所ノ箇條ニ限リ、之ヲ訂正修正シタモノダ、斯様ナモ  
ノデアル、即チ此民法修正案ノ土臺ト云フモノハ何人ト雖モ明治二十三年ニ  
於テ既ニ知ラザルベカラザルモノデアツテ、而シテ明治二十三年ヨリ三、四、  
五、六、七、八、九ト七箇年ノ間、既ニ日本國民ガ誠心誠意熱心ニ是ガ討  
究ヲ爲シツ、アツタ所ノ法律ニ對シテ、政府ガ選定シタ委員ガ習慣ニ背  
キ、或ハ不穩當ナリト云フ箇條ニ限リ、訂正ヲシタト云フ所ノ法律デゴザイ  
マス、今日七百二十三箇條ノ實ニ浩瀚ナル民法ヲ此座ニ出シテ、之ヲ直チニ  
議セト云フタナラバ、神ニアラザレバ能ハザル仕事デアラウガ、明治二十三  
年ニ根本タル土臺タル所ノモノハ、日本ノ法律トシテ既ニ發布ニ相成ツテ居  
タナラバ、法律ナルガ故ニ何人モ知ラザルベカラザルモノデアアルカラ、又之  
ヲ知ルト同時ニ國民一般ガ此箇條ガ我國ノ習慣ニ背キ、此箇條ガ不穩當デア  
ルト云フガ如キ事柄ハ、政府委員即チ民法調査委員ノ言ヲ待タズシテ、自  
己自ラ調査シテ置カケレバナラヌ所ノモノデアアル、況ヤ木村君ノ如キ其業  
ヲ法律事務ニ執ツテ居ル者ニ於キマシテハ、今日政府カラ修正民法案ガ出來  
タカラ、浩瀚ナルモノデアアルカラ、七百有餘箇條ノモノデアアルカラ、之ヲ議  
サレヌト云フガ如キハ、君ガドノ考デ、ドノ眼デ、ドノ口デ言フ、私ハ甚ダ怪  
訝ニ堪ヘナイ、況ヤ此修正案ト、ツレカラ明治二十三年ニ發布ニ爲ツテ僅ニ  
實施ヲ停止シテ居ル所ノ既成民法ト對照シテ見レバ、孰ガ優ツテ居ルカト  
云フコトハ、免ニ角ニ既成民法ヲ此修正案ノ如ク改正セナケレバナラヌ、此  
委員會ノ調査ノ如ク之ヲ訂正シナケレバナラヌト云フコトハ、木村君ト雖モ  
御承知ノ次第デアツテ、從ツテ又三百人ニ近イ所ノ議員諸君ハ悉ク御承知ノ  
事ト私ハ思フノデアアル、殊ニ況ヤ此法律ノ如キハ先ツ政府ノ方ハ措キマシテ、  
衆議院議員ノ上カラ見テモ、國民協會ノ元田君、改進黨ノ鳩山君、其他學  
士博士選リニ選ンダ所ノ一粒種ガ集ツテ委員會ヲ組織シテ、サウシテ長イ間  
數年ノ間調査シタ結果ガ、今日此場ニ現レタノデアアル、其調査シタ結果ニ就イ  
テ、此三百ノ議員ガ適當ナリト認ムル所ノ委員ヲ選舉シテ、委員會ヲ開キ、  
委員會ガ十幾回ノ審査會ヲ開イテ、今日多少ノ訂正追加其他種々ナル變動ハ  
ゴザイマスルケレドモ、免ニ角大體ニ於テ民法法典調査委員會ノ修正ノ箇條  
ヲ是認シタト云フヤウナコトデアツタリトシマスレバ、私ハ此場合ニ於テ最  
早諸君ハ是位ノ事ニハモウ誤ナイモノデアアルト云フコトヲ御承知ヲ與ヘラレ  
ンコトヲ希望シマス、即チ政府ガ提出シタ所ノ法律七箇年ノ昔ノ法律ヲ、六箇  
年以上ノ長イ時間、政府ノ其道ニ違シタ人、議院ノ中ニ於テモ殊ニ法律ニ通  
曉シタ人ヲ集メテ組織シタ其會ガ、六七年ノ長キ時間僅ニ七百條文ニ就イテ  
最モ周密ナル調査ヲ遂ゲラレテ、其報告ニ依ツテ議院ノ信ズル所ノ委員會  
ガ再調査ヲ爲シ、而シテ過チナイト認メテ此議場ニ報告シタ以上ハ、諸君ニ

於カレマシテモ、諸君ノ德義トシテ、今日之ヲ議スルノ時間ガ無イカラ、之  
ヲ議セバ甚ダ輕躁ノ笑ヲ引クカラ、延期シナケレバナラヌガト云フテ、是ガ  
否決ヲ爲スト云フコトニ至リマシタナラバ、天下如何ナル法律案ト雖モ、又  
幾百年經過スルト雖モ、満足トシテ之ヲ議了スルノ時ハナカラウト思フノデ  
アル(吉本榮吉君)ソナナ事ハ言ハズニ早ク問題ヲ議スルヤウニシタマヘト  
呼フ)吉本君杯ハ御黙リナサイ——殊ニ諸君ハ彼ノ二十九年度ノ總豫算ニ  
於ケル、其他増稅案ニ於ケル其條項其事實ヲ一括シテ之ヲ見タナラバ、幾百  
箇條ノ長キニ涉ルヤ、幾何千箇ノ事實ニ互ルヤト云フヤウナ新問題、即チ戰  
捷ノ結果トシテ現レタ所ノ新稅、又新ニ負擔センケレバナラヌ所ノ義務、是  
ニ關スル法律ハ諸君、果シテ如何ナル手續ヲ以テ、如何ナル方法ヲ以テ何日ノ  
間ニ之ヲ議了シタカ、試ニ豫算ヲ見ヨ、試ニ河川法案ヲ見ヨ、試ニ登記法ヲ  
見ヨ、又營業稅法ヲ見ヨ、是等ノ條項ハ總テ此議員ガ議了スルノ能力ヲ有ス  
ル考ヲ持ツタナラバ、工藤君ヲ除イテ外、能力ヲ有スルモノトシタナラバ、  
何ヲ以テカ僅ニ七百條ノ短キ所ノ議案ガ殆ド二箇月以前ニ提出ニ爲ツテ、其  
土臺ガ五年七年ノ昔ニ在リトシテ、是ガ是非曲直ヲ決スルノ能力ナイト云  
フコトガ出來ルカ、甚ダ相分ラヌ所ノ議論デアラウト私ハ思ヒマス(「簡單」  
ト呼フ者アリ)既ニ斯様ニ論シ來リマスレバ、此議案ヲ廢棄スルノ否決スル  
ノト云フコトハ、固ヨリ成立スルノ道理ハナイト思ヒマスルガ故ニ、降壇シ  
ヤウト思ヒマス、併シ終ニ一言スル、終ニ一言スル事ハ、此修正民法ヲ否決  
スル、延期スル、サウシタナラバ其結果ハドウデアアルカト云フコトヲ私ハ一  
言致ス(「餘リ長イト贊成ガナクナルゾ」ト呼フ者アリ)君等ノ贊成ヲ得ヤウ  
ト思ツテ私ハ登壇シタノデナイ、固ヨリ反對ノコトハ分ツテ居ル、君等ハ濟  
度スベカラザル人間ト見テ居ル(「簡單々々」ト呼フ者アリ)諸君、既成民法ト  
云フモノハ、明治二十三年ニ發布ニ爲ツテ、其實行ヲ本年マデ延長サレタノデ  
アル、而シテ此實行ヲ延長シタ者ノ理由ヲ聞ケバ、此既成民法中改正スベキ  
箇條アルトスレバ、其年限ノ間ニ改正スル、即チ此民法ヲ改正スルト云フ所  
ノ條件ヲ以テ、實行ヲ本年マデ延期シタノデゴザイマス、故ニ今日政府ガ改  
正スベキモノデアアルト云フ民法ヲ、當議場ニ提出シテ其改正スベキモノデア  
ルト云フ民法ヲ否決致シマシタ以上ハ、政府ハ改正スベキ箇條ノナイモノデア  
アルト云フコトヲ信シ、サウシテ既成民法ト云フモノハ實行シナケレバナラ  
ヌ、實行スルニ相違ナイノデアアル、即チ改正スベキモノガアレバ、二十九年  
マデニ改正シ、二十九年マデニ改正セナケレバ、三十年頃カラ實行スルト云  
フコトハ心得ナケレバナラヌノデアアル、然ルニ既ニ既成民法ト云フモノハ修  
正スルト云フ條件ヲ以テ、僅ニ其實行ノ期ヲ二十九年マデ延ベラレタモノト  
スレバ、今日之ヲ改正シマセヌ以上ハ、固ヨリ申スマデモナク、既成民法ノ實  
行ヲ明治三十年ヨリ見ナケレバナラヌ、明治三十年ヨリ既成民法ノ實行ヲ見  
ナケレバナラヌト云フコトデゴザイマシタナラバ、諸君、修正民法ガ果シテ  
優レルヤ既成民法ガ優レルヤト云フ點ニ御注意相成リマシテ、修正民法ノ

優ルコト萬々アリ、既成民法ト云フモノハ、修正民法ニ對シテ最モ其善ク  
 ナイモノデアルト云フコトヲ御承知ニ相成リマシタラバ、免ニモ角ニモ今  
 日ニ於キマシテ此修正民法ト云フモノ、第一讀會ヲ通過セシメナケレバナラ  
 ヌモノデアラウト私ハ思ヒマス、滿場諸君、希クハ木村君ノ如ク過タザラン  
 コトヲ希望致シマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(楠木正隆君) 討論終局ガ問題ト爲ル以上ハ決議ヲ採リマス、討論終  
 局ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠木正隆君) 多數、因テ討論ハ終結致シマシタ——茲ニ於テ該案ノ  
 二讀會ヲ開ク如何ノ決議ヲ採リマス、二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠木正隆君) 多數、因テ二讀會ヲ開クベキモノト決シマシタ  
 〔少數〕ト呼フ者アリ〔多數々々〕ト呼フ者アリ〔直チニ二讀會ヲ開ク  
 ベシ〕ト呼フ者アリ〔贊成々々〕ノ聲起ル

起立者 多數

○議長(楠木正隆君) 諸君、直チニ二讀會ヲ開クベシト云フ動議ガ問題ト爲  
 リマシタ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ〔直チニ二讀會ヲ開クベシ〕ト呼フ者アリ〔異  
 議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠木正隆君) 靜ニ——直チニ二讀會ヲ開クコトニ同意ノ諸君ハ起立  
 起立者 多數

起立者 多數

○議長(楠木正隆君) 多數、因テ直チニ二讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ省略致シ  
 マス

民法中修正案(政府提出)

第二讀會

○星亨君(八番) 私ハ一寸建議致シマスガ、此民法ヲ始カラ一々調ベルト云  
 フコトハ大變掛リマセウト考ヘマスカラシテ、即チ修正ハ修正ノ案ダケヲ一  
 トシテ議題ニ掛ケラレ、原案ハ原案ノ分ヲ一トシテ議題ニ掛ケラレテ、直チ  
 ニ可決アラントコトヲ希望スルノデアアル

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○小室重弘君(八十八番) 星君カラ御説ガ出テ居リマスガ、私モ別ニ斯ウ云  
 フ意見ヲ持ツテ居ル、今章刈君ガ述ベラレタ通、此民法ノ修正ニ就キマシテ  
 多年學士、博士ノ諸君ガ御調ニナツテ、茲ニ出シタモノデゴザイマシテ、又  
 特別委員會ニ於テモ吾々ガ信任スル所ノ諸君ガ、數日間御調ニナツタコトデ  
 ゴザイマスルノデ、即チ私共ハ之ニ對シテ修正ヲ一々議スルノ、或ハ議論ヲ  
 爲スノト云フヤウナコトヲ爲サズニ、此特別委員ノ修正ナルモノニ十分ノ信  
 用ヲ措キマシテ、吾々ハ其修正ヲ信ズル上カラ、直ニ此案ヲ確定セラレンコ  
 トヲ希望スルモノデゴザイマス

〔「ノウノ」〕ト呼フ者アリ  
 ○議長(楠木正隆君) 該案ノ全部ヲ以テ議題ト爲シマスル

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

〔政府委員(梅謙次郎君) 民法中修正案ノ「襟卷ヲ取レ」ト呼フ者アリ〕失禮

デゴザイマスガ是ハ醫者ノ命デゴザイマスカラ、御免ヲ蒙リマス、ヒドク咽  
 喉ガ惡ウゴザイマスカラ、中ニハ政府ニ於テ贊成ヲ致シ兼ネタ事モアリマス  
 ルシ、又進デ贊成シタ事モアリマス、サリナガラ大體ニ於キマシテハヒドク  
 反對ヲスベキ所モアリマセヌニ依ツテ、是非元ニ復シテ戴キタイト云フ點ハ  
 殆ドナイノデアリマス、唯一ノ點ニ於キマシテドウモ元ニ復シテ戴キマセヌ  
 ト云フト、前後不揃ニシテ甚ダ不完全ナルコトニ爲リハセヌカト思ヒマスル  
 ニ依ツテ、其點ダケヲ元ニ復シテ戴キタイ、ソレハ何條デアアルカト申シマス  
 ルト、第四百四十九條デアリマス、百四十九條ニ「裁判上ノ請求ハ却下又ハ取  
 下ノ場合ニ於テハ時効中斷ノ效力ヲ生セス」トアリマスル、其「裁判所ノ請求  
 ハ」ノ下ニ「訴ノ」ナル二字ヲ入レラレマシタ、是ハ先刻委員長カラモ報道ガア  
 リマシタガ、委員會ニ於テ此説ガ出マシタノハ、若シ請求ガ本案ニ於テ却下  
 セラレタナラバ、其原告ナル者ハ最早權利ガナイト極ルノデアアルカラ、時効中  
 斷ノ問題ハ起ラヌカラデアアルト、斯ウ云フ理由デアアツタヤウデアリマス、サ  
 リナガラ是ハ少シク事實ノ相違シテ居ルコトデアアル、成ル程其訴訟ノ當事者  
 ニ於テハ、裁判ガ確定致シマスレバ其效力ガ何期マデモアルニ依ツテ、時効中  
 斷ノ問題ハ起ラナイケレドモ、時効中斷ナルモノハ、唯當事者間ニ於テノミ効  
 力ノアルノデナク、他ノモノニ對シテモ效力ヲ生ズル場合ガ幾ラモアル、直ニ  
 前ノ箇條ヲ御覽ニナルト、第四百四十八條「前條ノ時効中斷ハ當事者及ヒ其承  
 繼人ノ間ニ於テノミ其效力ヲ有ス」當事者及ヒ其承繼人トアル、此承繼人ノ  
 中ニハ特定承繼人が這入ツテ居ル、特定承繼人ニ對シテモ時効中斷ハ效力ヲ持  
 ツノデス、然ルニ裁判ノ效力ト云フモノハ、全ク當事者ト、ソレカラ包括承  
 繼人ノ間デナケレバ效力ナイモノデアアツテ、特定承繼人ニ對シテ効ハナイノ  
 デス、尙ホ特別ナル場合ガ、此法案中ニモ規定ニナツテ居リマスル、ソレハ保  
 證ニ關スル事ト、連帶債務ニ關スルコトデアアル、連帶債務ニ關シテハ、第  
 四百三十三條今度修正ニ爲ツテ三十四條ニ爲ツタ箇條デゴザイマス「連帶債  
 務者ノ一人ニ對スル履行ノ請求ハ他ノ債務者ニ對シテモ其效力ヲ生ス」此請  
 求ト云フ中ニハ總テノ方法ヲ以テスル請求ガ皆這入りマスカラ、即チ裁判  
 上ノ請求ハ無論這入ル、而シテ其裁判上請求ト云フモノハ、他ニモ效力ヲ生  
 ズルケレドモ、時効中斷ノ效力モ持ツテ居ルモノデアアル、ソレカラ保證ニ就  
 キマシテハ、第四百五十七條デス、今度修正ニ爲ツテ五十七條ニ爲リマシタ  
 「主タル債務者ニ對スル履行ノ請求其他時効ノ中斷ハ保證人ニ對シテモ其効  
 力ヲ生ス」ト書イテアリマス、茲ニ時効ノ中斷ト云フモノハ廣ク保證人ニ對  
 シテモ其效力ヲ及スコトヲ明言シテアリマス、斯ノ如ク裁判上ノ請求ガ他ノ

モノニモ效力ヲ及シ、時効中斷トシテ他ノモノニモ效力ヲ及ス場合ハ幾ラモアルノデアアルガ、裁判ノ結果、既判力ト云フモノハ當事者間ニノミ效力ヲ持ツモノデアアル、サウシテ見ルト、先刻ノ委員會ノ議論ノ根據ト云フモノハ、既ニ誤ッテ居ルノデアアル、即チ百四十九條ニ於テ「訴ノ却下」ト斯ウ書キマスルト、裏面ニ於テドウシテモ本案ニ於テ却下セラレタ場合ハ這入ラヌト云フコトニナル、サウシテ「裁判上ノ請求」ハ「訴ノ却下」ト云フ場合ニ於テハ、時効中斷ノ效力ヲ生ゼズト斷リマスルカラ、即チ其裏面ニ於テ本案ニ於テ却下セラレタ場合ハ、矢張時効中斷ノ效力ヲ保ツト云フコトガ解釋上出テ來ル恐ガアリマス、サウシテ「訴ノ却下」ハ甚ダ不都合デアリマスカラ、ドウカ其二字ダケハ御取消ニナツテ原案ニ復セラレンコトヲ希望致シマス、他ノ部分ニ於テハ多少反對ノ點モアリマスケレドモ、舊ニ復シテ戴クコトヲ必シモ請求スル譯デアアリマセヌ、是ダケハ是非舊ニ復シテ戴クコトヲ希望致シマス

○草刈親明君(二百三十二番) 唯今梅政府委員ノ御演說ニ就キマシテ、私ハ意見ガゴザイマスガ、今日ハモウ考ヘル所ガゴザイマスカラ述ベマセヌ……

○議長(楠本正隆君) 百四十九條ニ對シテ政府委員ノ請求ハ別段其意ヲ採用スルト云フ修正説モ出マセヌニ依ツテ問題ト爲リマセヌ、——委員會ノ修正ハ別ニ報告ガ諸君ノ御手許ニ配付シテアリマスニ依ツテ、先ヅ修正案ノ修正特別ニ一括シテ決議ヲ採リマス、而シテ次ハ原案ノ決議ヲ採リマス——是ヨリ決議ヲ採リマス、委員會修正ノ全部ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數  
○議長(楠本正隆君) 多數ヲ以テ修正ニ決シマスル、其他ハ原案ニ御勸諭ガナケレバ原案ノ通過スルコト、シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ委員會ノ修正ノ外ハ總テ原案通り決シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 直チニ三讀會ヲ開クベシトノ勸諭ガ提出セラレマシタ、而シテ是ニハ御異議ナシト認メマス、因テ直チニ三讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス——波多野傳三郎君

民法中修正案

第三讀會

(波多野傳三郎君演壇ニ登ル)

○波多野傳三郎君(二百七十二番) 本員ハ此場合ニ於キマシテ民法修正案全部廢棄ト云フ説ヲ提出致シマス、定テ此説ヲ出シマシタナレバドナタカラカ御叱リヲ受ケルコトデアラウト思ヒマスルガ、併ナガラ如何ニ御叱リヲ受ケマシテモ、已ムナク此説ヲ出サシメバナラヌ場合デアリマス、民法修正委員會會長ハばりせとるニシテ辯護士タル星亨君ガ報告ヲゴザイマシテ、實ニ其道ノ長者ト謂フベキ方デアリマセウガ、其星亨君ガ報告ヲセラル、ニスラ、前後ヲ誤ラル、ト云フコトハ御聽キノ通デアラマデ、ゴザイマス、サレバ其道ニ明ナラザル本員ノ如キニ至リマシテハ、此委員會ニ於テ如何ナル立場ニナツタカト云フコトヨリ、先ヅ諸君ノ御聽ニ達シマシテ、而シテ廢棄説ヲ唱ヘネ

バナラヌト云フコトヲ申上ケル譯デアリマス、本員ノ如キハ法律ニハ誠ニ素人デアリマス、併ナガラ自ラ信ズル、四千万兄弟ノ一人トシテハ、確ニ「さんもんせんず」ダケハ持ツテ居ルト云フコトヲ信ジテ居ルノデアリマス、若シ「さんもんせんず」ガナケレバ茲ニ諸君ト席ヲ列ベルコトモ出來ナイノデアラカラ、自ラ信ズルノモノナラズ、諸君ニ於テモ御許ニナルコト、信ジテ居リマス、然ルニ委員ノ一人ト議長ガ指名シタルトキニ、法律ニ專門ト云フデアラクシテ、ナゼ之ヲ甘ジテ受ケタカト申シマスレバ、草刈親明君ガ木村格之輔君ヲ御叱リニナツタ言葉ノ其中ニハ、明治二十三年ニ此法律ノ出來タ時カラシテ、四千万人ガ法律ヲ知ツテ居ル管デアアルト、此御叱リノ言葉デアアル、即チ四千万人ノ兄弟姉妹ノ上ニ此法律ハ當嵌マルノデアアル、此法律ニ依ツテ以テ富々者モアラウ、以テ貧クナル者モアルデアラウ、此法律此條ニ於テ富ニ章刈親明君ヲシテ御叱リヲ受ケルダケナレバ宜イデアリマスガ、ウカト御同前ガ盲判ヲ捺シテ置キマスルト云フト、此法律ニ依ツテ四千万、汝民

法ハ知ツテ居ル管デアアルト云フ言葉デ裁判官カラ宣告セラレテ、知ラズ識ラズノ間ニ不幸ニ陥ル者モ出ルト云フ有様ヲ竝出スルノデアリマス、サレバ却テ法律專門ノ方ヨリハ、本員ノ如キ唯普通ノ感覺ダケヲ有ツテ居ルト云フ人間ガ、偶々委員ニ指名セラレタラ幸ニ、其中ニ這入ツテ審査致シタラバ、

黨ハクハ四千万兄弟姉妹ニ分ル法律ガ出來ルデアラウカト、本員ハ其任ヲ甘ジテ受ケタ譯デアリマス、而シテ此委員會ガ開ケマスルト、委員長カラ言ハレタル如ク、十一回開カレテ居リマスルガ、第二ノ委員會、即チ去月二十九日ノ委員會ニ於テ木村格之輔君ノ要求ヲ委員會ガ容レラレマシタ、其上カラ申シマスルト云フト、曩ニ草刈君ノ御叱リハ餘リ御無理デハナイカト私ハ考ヘマスル譯デアリマス、ナゼ無理デアルカ、二十九日ニ如何ナル事

ヲ委員會ヨリ要求シタカト云ヘバ、政府ニ向ツテ七百二十三條ト云フ浩瀚ノ法律ヲ出サレタ其理由ト云フモノハ、唯ノ六行ノ理由デ、七百二十三條ノ法律ヲ理解スルト云フコトハ如何ニモ難キ事デアアル、コレニ就イテハ何カ理由書デアリハシマイカト聽イタトキニ、唯今一次會ノ場合ニ、穂積政府委員

カラ述ベラレタ如キ事ヲ以テ答ヘラレマシタガ、同時ニ理由書ト云フモノハナクトモ、然ラバ何ゾ參考ニ爲ルモノハアルマイカト言ツタトキニ、責任ヲ以テハ出スコトハ出來ヌガ、參考ト相成ルベキモノヲ出スデアラウト言ハレテ、出サレマシタノガ此三冊デアリマス、二十九日ニ出サレマシタノガ、

茲ニ於テ木村格之輔君ガ折角ニ參考書ヲ出サレタト云フコトハ、之ヲ參照シテ審査スルタメデアアルカラ、冀クハ責メテハ素讀ダケノ時間ヲ與ヘラレヨ、

之ガタメニハ三日間ノ猶豫ヲト、木村君ハ述ベラレマシテ、其次ノ委員會ガ本月ノ三日デアリマシタ、當日ハ本員ハ不幸ニ病ニ罹リマシテ、三日ノ委員會ニハ列席ハ致シマセヌデアリマス、免ニ角二十九日ニ渡サレタ參考書ガ、如何ニ政府ガ責任ヲ以テ出サヌト云フモノハ、出スト云フノハ多少ノ

參考ニセヨト云フコトデアアル、又委員會ニ於テモ、之ヲ參考書トシテ審査セント欲シタモノガ此三冊デアアル、此三冊、紙ノ厚サニ依ツテ判斷ガ出來マス

マイガ、文字ノ大キサヲ申シマスルト云フト、普通新聞ニ書タ如キ細カナ文字デ、是ダケノ厚サノモノヲ三冊出シタト云フ譯デアリマス、サレバ委員

會ニ於テモ之ヲ素讀スルニモ三日ハ掛ルト思ツテ、蓋シ三日間ト云フコトニ

同意セラレテ、三日ニ第二ノ委員會ヲ開クト云フコトニ至ッタノデゴザリマ  
 ス、然ルニ四日ニ第二ノ委員會ヲ開クト云フコトキニナルト、如何デアアルカト  
 云フト、丁度二十九日ニ出サレタト同シ位ナ高サノモノヲ即席ニ出サレテ、  
 ソコデ其條項ヲ直グ議スルト云フコトデゴザリマス、其道ノ長者ハ如何デア  
 ルカ知りマセヌガ、本員等ニ於キマシテハ、其場ニ百餘近クノモノ、參考  
 トスベキモノヲ出サレテ、右カラ左ニ之ヲ參考トシテ議スルト云フコトハ、  
 到底出來ヌノデゴザリマス、サレバ本員ガ委員會ニ於テノ立場ヲ申シマスル  
 ト、木村君ガ三日間ノ猶豫ヲ請フト言ハレタトキニハ、委員長ノ命ニ依ッテ  
 是ニ同意ノ者ハ手ヲ舉ゲト言ハレタトキニハ、手ヲ舉ゲタダケテ、其外ニハ  
 實ニ進退谷ッテ居ッタデゴザリマス、ソレカラ後一昨十四日ニ至ルマデ、十  
 一回ノ委員會ヲ開キマシタ、其中ノ最後ノ一日ハ確定ヲスルタメト云フコト  
 デゴザリマシタ、最初ノ一日ハ委員長理事ノ選舉デゴザリマシタカラ、中稍  
 審査ニ時ヲ費シタト云フモノハ九日デアアル、九日ノ間ニ七百二十三條ヲ議ス  
 ルト云フコトハ、日ニ(吉本榮吉君)委員會ノ經過杯ヲ述ベテハ(困)ト呼フ  
 御困リナナルナラバ耳ヲ塞イデ御居デナサリマシテモ、宜シウゴザリマス  
 吉本榮吉君ハ議事ノ進行ヲ助ケル上ノ論ハ、折リナサレマスケレドモ、議席ニ  
 於テ無駄口ハ御慎ミナサレガ宜カラウト思ヒマス、ソレトモ之ヲ聽クニ堪エ  
 スナラバ辭職ナサレテ故郷ニ御歸リニナツテモ宜シウゴザリマス(ヒヤ)ト  
 ト呼フ者アリ)斯様ナ事デゴザリマスカラシテ、日ニ議スル箇條ハ幾何デア  
 ルカト云フト、平均シマスルト八十箇條程ノモノヲ議スルト云フコトデゴザ  
 リマス、斯ノ如キ事ガ——ソレノミニ掛カッテ居リマスレバマダシモ、丁度  
 同時ニ本會ニ於キマシテハ増稅若クハ新稅ト云フ人民ノ休戚ニ關ル問題ヲ議  
 シテ居ルト云フ時デアアルカラ、是モ捨テ置ケヌ、左様ナルコトガ實際ニ於テ  
 十分ノ審査ガ出來ルコトデゴザリマセウカ、如何デゴザリマスルカ、而シテ  
 十三日ノ委員會ノ時ニ至リマシテ、先ヅ一通リハ議シ來ッタガ、尙ホ政府ハ  
 是ニ對シテ如何ナル事ヲスル積リデアアルカト云フ問題ガ起リマシタトキニ、  
 兔ニ角責任ノアル大臣ノ出席ヲ請フテ、是ニ對スル決心ヲ聽カウト云フコト  
 デアル、其時ガ十三日ノ午後三時半頃ト記憶致シマスルガ、責任アル大臣ノ出  
 席ヲ請フテ、十分ニ其決心ヲ聽カウト云フコトデアアルカラ、大臣ガイッ出  
 ツテセラル、カ、其說ヲ聽カウト云フコト委員長ヨリ通知セララル、デアラウ  
 ト思ッテ、本會ニ來テ居リマスルト云フト、何ノ通知モナカッタノデゴザリ  
 マス、而シテ一昨十四日ニ至リマスルト云フト、他ノ委員ノ言ハレマスル所ニ  
 依レバ、ドウヤラ總理大臣ガ出席セラレテ、此民法修正案ガ當議會ヲ通過ス  
 ル途ハ如何ニシテモ勉ムルト云フコトト云フコトハ、委員長ノ目カラ  
 ガ、二百七十三番民法修正案ノ委員ノ一人デゴザリマス、委員長ノ目カラ  
 見、シタナラバ曾テ口ヲ修キテコトガナシ、唯一遍手ヲ舉ゲタノミデアアル  
 ラ、有レドモ無キガ如ク見ラレタノデゴザリマセウカ、政府委員、否、國務  
 大臣ノ出席ヲ求メテ、政府ノ決心ヲ聽クト言ハレタトキ、曾テ御通知ヲ受ケ  
 ヌノデゴザリマス、然ラバイツノ間ニ如何ナル事ヲ調べテ、如何ナル打合せ  
 ガアッテ斯様ニ急ガル、カト云フコトハ、斯ク申ス本員等ハ知ラヌノデゴザ  
 リマス、斯様ナ有様ニ經過シ參リマシテ、而シテ一昨日確定ト云フコトデゴ  
 ザリマシタガ、其十三日ノ決議ノ精神デハ、吾々ハ政府ノ決心ニ依ッテ、尙政  
 府ハ如何ニ決心スルカト云フコトヲ確メテ問フベキハ問ヒ、質スベキハ質シ

タイト思ヒマシタガ故ニ、其日始テ委員長ニ向ッテ口ヲ開イテ、何分其日  
 ニ參考書ヲ出サル、ト云フヤウナコトデアアルカラ、本員等ハ審査シヤウト  
 言フモ審査ガ出來ナイ故ニ、確定議ノ場合ニ至ッテ質問スルヤウナコトモア  
 ラウ、或ハ修正意見ヲ出スコトモアラウガ、願ハクハ許サレタイト言ッテ委  
 員長モ同意セラレテ居リマシタガ、其間ニ國務大臣ノ出席ヲ請フト云フ場  
 合ニハ御通知ヲ受ケマセヌガ故ニ、如何ナル事ヲ進行ヲスルカ、分ラズシテ、  
 又十四日モ遂ニ其儘過ギ行クト云フヤウナコトデ、今日此場ニ臨ムト云フ  
 有様デゴザリマス、斯様ナル事デヤリ來タル修正案ノ審査委員會、本員ハ  
 其一人トシテ、茲ニ實ニ口ヲ開クモ憂シ、開カザルモ亦憂シト云フ位地ニ在  
 リマス、而シテ之ヲ唱ヘレバ必ズ列席ノ諸君ノ中カラ御叱リヲ受ケルト云  
 フコトハ、豫テ覺悟デハゴザリマスルガ、奈何セン是デ唯盲判ヲ押シテ、而  
 モ議長デガ半日ノ議事ノ御取扱ト異ッテ、一束シテト云フヤウニ急ガル  
 ルト云フニ當リマシテ、此儘デ是ガ法律ト爲ルハ、免ニ角我衆議院ノ意思ダ  
 ケヲ確定スルト云フコトニ相成リマシタナラバ如何デゴザリマス、實ニ  
 無辜ノ民ヲ擠ル、ト云フ如キコトガ、即チ草刈君ニ一場ノ御叱リヲ受ケル  
 ト云フ如キコトデアアレバ、汝四千万ノ人民ハ、民法ハ能ク知ッテ居ル  
 答デアルト云フ、一言ノ神聖ナル法廷ニ於テ宣告ヲセラル、ト云フコトガ、是  
 ニ由ッテ起ルノデゴザリマスレバ、實ニ我四千万ノ人民ヲ圖リマスルト云フ  
 ト、大ニ慎マネバナラヌコトデアアルト思ヒマス、而シテ今日唯今ト爲ッテ慎  
 ノ途ハ外ニナイ、既ニ第三讀會マデ一瀉千里ノ勢デ來テ參リマスレバ、唯茲  
 ニ於テハ否決ノ意見ヲ出シマシテ、諸君ノ御贊成ヲ請フヨリ外ゴザリマセヌ  
 故ニ、茲ニ最後ノ一言ヲ殘ス、即チ冀ハクハ諸君尙ホ是ニ就イテ御熱慮ノア  
 ランガタメニ、委員長ノ報告ノ如クニ若モ惡ルイ處ガアラバ、又改正ヲス  
 レバ、其昔吾々ガ專制政府ヲ惡シタハ何カト云フト、朝令暮改ヲ惡シタ  
 ノデアリ、帝國議會ノ設立セラレル以上ハ、朝令暮改ガナクナルヤウニト希  
 望シテ居ルノニ、其帝國議會ノ一人、而モぼりずとる辯護士タル審査委員長  
 星亨君ガイケケナケレバ直シタラ宜シト云フノハ、寧ろ專制政府ノ朝令暮改  
 レヲ吾々ガ又ヤラウシヤナイカト云フ如キコトデ、諸君ガ一瀉千里ノ勢デ  
 レルト云フコトハ、如何ニモ諸君ノタメニ取リマセヌ、否、四千万ノタメニ  
 此事ハ諸君ト共ニ能ク計ッテ置カネバナラヌト思ヒマスルガ故ニ、冀ハクハ  
 此場合ニ於テ否決セラレントト希望致シマス  
 ○星亨君(八番) 少シ質問ガシタシ、今演說ヲセラル、御方ハ委員會ニ於テ  
 ハ手ヲ……贊成ナスコトモアルシ、又反對ナスコトモアルト思ヒマ  
 ス、手ヲ御舉ゲナスコトモアルト思ヒマス  
 ○波多野傳三郎君(二百七十三番) 其通、今申シマシタ木村格之輔君ノ……  
 ○星亨君(八番) ソレカラ尙ホ十四日ニハ御出ニナリマシタカ、十四日ニ於  
 テハ私ガ今日ハ是デ即チ結了スル、因ッテ諸君ニ於テハ即チ責任ヲ以テ十分  
 調べタニ就イテ、其責任ヲ以テ報道スルコトニ就イテ異存ハナイカト云フコ  
 トヲ聞イタトキニ、御出ニナリマシタカ  
 ○波多野傳三郎君(二百七十三番) 其時ニハ本會ニ農工銀行法案ノ出テ居リ  
 マス時デ、其第二條カ、記憶シテ居リマセヌガ、債券ニ關スル部分ガ出テ居  
 リマス時デ、其決議ニ加ランガタメニ丁度最後ノ時ハ關席致シテ居リマシタ、  
 是ハ併ナガラ今日ト相成リマス、委員長ニ此間關席スルト申上ゲマセヌデ

ゴザリマスカラ、如何ニ今日御認メニナラヌデモ致方ハアリマセヌガ、慥ニ其時ハ閣席致シマシテ

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

〔山田泰造君演壇ニ登ル〕

○山田泰造君(二百八十七番) 諸君ガ討論終結ヲ御望ニナル所ヘ、餘計ナ言ヲ費スノハ甚ダ如何ニアリマスルガ、併シ一言ヲ費サナケレバナラヌ私ハ時機ニ到來シタト思フ(「簡單」ト呼フ者アリ)勿論簡單ニ述ベマスル積デ……木村君ハ波多野君ハ何ヤラ委員會ノ愚痴ヲコボサレマシタガ、委員會ニ縱令何ガアラウトモ、吾々ハ國家ノ大事ヲ議スルモノデアアル、委員會ニ少シ位不平等ガアツタカラト云ツテ、ソレガタメニ其自分本會ヘ持來シテ之ヲ否決スル如キニ至ツテハ、誠ニ驚人タト本員ハ言ハザルヲ得ズ、蓋シ木村君ガ二百三十三條ノ説ヲ熱心ニ御述ニナツテ、本員モ贊成シタガ、遺憾ニモツレハ消滅シタ、本會ニ行ツテモ述ベルト仰シヤツタガ述ベル時機モナシ、是等ノタメニ、ヨモヤ此事ヲ仰シヤル事デアハナイト云フコトハ、本員モ信ズル所デアリマス、又波多野君ノ如キモ沈黙ノ義務ヲ守ル、斯ウ仰セラレ、本員ノ如キハ到底能ク是ニ通曉スルコトハ出來ヌトマデモ明言サレタ、何等ノ其節苦情モナカッタヤウニ私ハ思フデ、是等ノ委員會ノ愚痴ト云フモノヲ諸君ニ訴ヘル私ハ價値ノナキモノト思フ、而シテ此民法ヲ發布スルト發布セザルトハ、我國家ノ上ノ利害得失果シテ如何、是レ吾々ガ最モ審議ヲ要スルノ點ナリト本員ハ考ヘル所デアアル、曩ニ民法ヲ修正スルガタメニ延期ヲシタルハ、諸君ガ皆大多數ヲ以テ決セラル、所ニアラズヤ、而シテ其修正ニハ無限ニ之ヲ期シタルヤ、諸君ハ記憶セラル、ナラン、明治二十九年マデニ之ヲ延期セラザル、ト云フコトヲ申サレタルニアラズヤ、若シ之ヲシテ尙ホ本會ニ通過致サザルガ如キアラシメバ、吾々ハ何ヲ以テ此豫約ニ背クノ責ヲ免レザラン、又諸君ニ於カレマシテハ官判ト云フコトヲ以テ非常ニ感動ヲサレタ、嗚呼諸君、思ハザルノ甚シキト本員ハ言ハザルヲ得ズ、抑、法律ナルモノハ專門ノ學普通ノ試験ヲ經テ及第スルモノモ、少クモ三年ヲ要シナケレバナリマセヌ、一ニ登用スル、又其上ノ一層ノ勞ヲ……況ヤ今日ノ如キニ於テハ、獨ト云ヒ佛ト云ヒ、英ト云ヒ、各國ノ法律ヲ參照シテ之ヲ我國ノ時勢如何ヲ考ヘ、且ツ既成ノ民法ヲ基礎トシテ、外ハ宇内秀銳ナル所ノ法律ヲ參照シ、未ダ有ラザル所ノ善良ナル法律ヲ見出シテ之ニ加味ス、是等ノ點ニ至ツテ諸君普通ノ人ガ爲シ得ルカ、爲シ得ラル、カ能ク御考ヲ願ヒタイ、官判ヲト仰シヤルガ、官判ト云ハル、人ハ、到底其人ノ專門ノ學業ヲ經テ後トデサヘモ尙ホ難イトスル所、況ヤ普通ノこんもんせんすヲ持ツテ居ラル、人ガ、何ゾ是ヲ以テ縱令三年掛ルトモ法理ノ原則ニ對シテ之ヲ調査スルコトガ出來マセウカ、蓋シ此點ニ於テハ諸君モ御同感ナラント信ズル、而シテ此法律ニ從事セラレタ人ハ、果シテ如何ナル人カト云フト、我國ニ於キマシテ英法ノ博士ナリ、鳩山君ノ如キ、重岡君ノ如キ、調査會ニ皆是ニ從事セラレ、是等ノ博士ノ爲シタコトニ信ヲ措カズンバ、何ヲ以テ吾々ガ信ヲ措ク人ガアリマセウ、然ル以上ハ、此法理ノ原則ニ就イテハツレ等ノ人ニ吾々ガ信ヲ措クノ價直アリト信ズル故ニ信ヲ措ク、唯吾々ガ審査スル所ハ、法律上ニ置キマシテ之ヲ實際ニ施ス所ノ利害如何、即チ是等ノ點ニ就キマシテ、日數ノ少キニモ拘ラ

ズ、十分ニ審議討論ヲ盡シタ所デアアル、其他ノ法理ノ原則ニ至リマシテハ、縱令百日論ズルモ、千日之ヲ議スルモ、到底是ハ極リナキ所デアリマス、故ニ本員等ハ盡スベキノ審議ヲ盡シ、將ニ之ヲ我國ニ行ツテ以テ足レリ、又之ヲ行ツテ以テ外ハ條約改正ヲ履行スルニ妨ゲナイ、今速ニ欲スルコトヲ望ムガ故ニ、最モ此法律ノ施行ハ急施ヲ要スルモノナリト信ズル、即チ國家ノ上ノ利害得失ノ點ハ、本員ノ考ヘル所、是ヨリ大ナルモノハナカラウト信ズル所デアリマス、願ハクハ滿堂ノ諸君、些々タルコトニ御考ヲ置カレズシテ、我國家ノ大體ノ上ニ目ヲ注ガレテ、速ニ本案ノ可決アランコトヲ望ミマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○野口勝一君(二百九十一番) 一寸聞キタイコトガアリマス、委員長一寸御尋致シマス、第三十六條ニ割ト云フ字ハ、二本棒ガアツタノヲ、棒ヲ取ツタト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 何條デゴザリマス

○野口勝一君(二百九十一番) 三十六條デス、一寸伺ヒマスガ、此畫ト云フ字ハ棒ヲ二本引イタ方ガ正シウハゴザリマセヌカ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ兩方ノ字ヲ書キマスヤウデスガ、併ナガラ近頃出マシタ法律ヲ見マス、棒ヲ引カナイ方ガ多イ、尙ホ漢學者杯ノ説ニモ、寧ロ刀ノ附カヌ方ガ正シイト云フ説モ聽イタコトモアリマスカラ、是ハ此デ宜カラウト考ヘマス

○野口勝一君(二百九十一番) ドウモ刀ノ附イタ方ガ正確デゴザイマセウナ

○政府委員(梅謙次郎君) 政府案ニハ刀ガ附イテ居ツタデスガ、併シドチラデモ宜カラウト思ヒマス

○星亨君(八番) サウ云フコトハ若シ確定シタナラバ、議長ニ於テドチラニモ宜イヤウニ願ヒタイ

○野口勝一君(二百九十一番) 私ハ斯ウ願ヒタイ

○星亨君(八番) 一寸議場デ委員會ノ事ヲ何カグヅク言ハレマシタガ、波多野君ノ事ニ就イテ一寸委員會ノ事ヲ言ツテ置カナケレバナリマセヌガ、波多野君ハ即チ呼ビニヤツタ所ガ議場ニモ居ラナイ、其自分ノ部室ニモ居ラナカッタサウデス、十三日ノ時ニハツレ故ニ已ムヲ得ズ委員會ニ來ラレナイト私ハ見テ居ル、サウ云フヤウナ譯ニ爲ツテ居ツテ、決シテ波多野君ノヤウナエライ人ヲ呼バナイト云フヤウナ事ハアリマセヌカラ、是ハ委員長トシテ報道シテ置カナケレバナラヌ

○議長(楠本正隆君) 諸君、決議ヲ採リマス、即チ該案全部ノ確定議、該案ニ對シテ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、是ニ於テ該案ノ確定ヲ報ジマス、而シテ文字ノ整理ハ例ノ通議長ニ一任アランコトヲ希ヒマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(楠本正隆君) 又文字ノ整理ノミナラズ、唯今確定ニ爲リマシタ委員會ノ修正中、條文ノ本文ト但書トヲ合シテ一項ニスベキモノヲ、但書ダケヲ別項ニシタヤウナ類モアリマスガ、是等ノ正誤ヲ爲スガ如キ、總テ條項ノ整理ハ是レ亦議長ニ一任ヲ請ヒマス

(甲)(乙)(丙)(丁)(戊)(己)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件  
ニ關スル法律案 第一讀會 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

(一)異議ナシト呼フ者アリ  
○議長(楠本正隆君) 次ハ豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案、日程ノ第二ヨリ第十三マデヲ併テ議題ニ供シマス、朗讀ヲ省略シマス  
○星亨君(八番) 是ヨリ豫算委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、議場ノ許可ヲ得タイ  
○議長(楠本正隆君) 豫算委員會ノタメニ議場ヲ退席ノ請求ガアリマス、御承認ヲ請ヒ置キマス  
(一)異議ナシト呼フ者アリ

(一)異議ナシト呼フ者アリ

第二 (甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第四 (乙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第六 (丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第八 (丁)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十 (戊)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十二 (己)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

一 山梨縣下甲府ヨリ靜岡縣下岩淵ニ至ル鐵道

一 東京府下上野ヨリ千葉縣下千葉佐倉ヲ經テ銚子ニ至ル鐵道ヨリ分岐シテ木更津ニ至ル鐵道線中千葉縣下會我町ヨリ木更津ニ至ル鐵道

一 京都府下舞鶴ヨリ福井縣下小濱ヲ經テ敦賀ニ至ル鐵道

一 兵庫縣下姫路ヨリ生野若ハ笹山ヲ經テ京都府下舞鶴又ハ園部ニ至ル鐵道線中兵庫縣下姫路ヨリ笹山ヲ經テ京都府下園部ニ至ル鐵道

一 香川縣下多度津ヨリ愛媛縣下今治ヲ經テ松山ニ至ル鐵道

一 福岡縣下小倉ヨリ大分縣下大分、宮崎縣下宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道中柳ヶ浦ヨリ大分ニ至ル鐵道

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得

社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 宮城縣下石ノ巻ヨリ小午田ヲ經テ山形縣下船形町ニ至ル鐵道線路中宮城縣下石ノ巻ヨリ同縣下温泉村鍛冶屋澤ニ至ル鐵道  
政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ本線路ノ全部ノ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シテ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ  
(丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江、濱田ヲ經テ山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道線中兵庫縣下和田山ヨリ湯島ニ至ル鐵道  
政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ兵庫縣下和田山ヨリ鳥取縣下鳥取ニ至ル豫定鐵道線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ  
(丁)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江、濱田ヲ經テ山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道線中鳥取縣下米子ヨリ島根縣下今市ニ至ル鐵道  
政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ鳥取縣下米子ヨリ島根縣下濱田ニ至ル豫定鐵道線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ  
(戊)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 熊本縣下熊本ヨリ大分縣下大分ニ至ル鐵道線中熊本縣下熊本ヨリ大津ニ至ル鐵道  
同鐵道線中大分縣下大分ヨリ竹田ニ至ル鐵道  
政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ該豫定鐵道線路ノ全部ノ敷設貫通ヲ妨グルノ虞ナカラシメンカ爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ  
(己)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道線中高知縣下山田野地ヨリ須崎ニ至ル鐵道  
一 香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道ニ德島縣下德島ヨリ接續スル鐵道線中德島縣下德島ヨリ川田ニ至ル鐵道

社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 宮城縣下石ノ巻ヨリ小午田ヲ經テ山形縣下船形町ニ至ル鐵道線路中宮城縣下石ノ巻ヨリ同縣下温泉村鍛冶屋澤ニ至ル鐵道  
政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ本線路ノ全部ノ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シテ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ  
(丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江、濱田ヲ經テ山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道線中兵庫縣下和田山ヨリ湯島ニ至ル鐵道  
政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ兵庫縣下和田山ヨリ鳥取縣下鳥取ニ至ル豫定鐵道線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ  
(丁)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 京都府下舞鶴ヨリ兵庫縣下豐岡、鳥取縣下鳥取、島根縣下松江、濱田ヲ經テ山口縣下山口近傍ニ至ル鐵道線中鳥取縣下米子ヨリ島根縣下今市ニ至ル鐵道  
政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ鳥取縣下米子ヨリ島根縣下濱田ニ至ル豫定鐵道線路ノ全部ヲ敷設スルノ必要ヲ認ムルニ當リ其ノ會社ニ於テ之カ敷設ヲ爲サ、ルトキハ其ノ建設費實費ヲ以テ前項ノ鐵道ヲ政府ニ買收シ又ハ之ヲ他ノ會社ニ賣渡サシムル爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ  
(戊)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 熊本縣下熊本ヨリ大分縣下大分ニ至ル鐵道線中熊本縣下熊本ヨリ大津ニ至ル鐵道  
同鐵道線中大分縣下大分ヨリ竹田ニ至ル鐵道  
政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ該豫定鐵道線路ノ全部ノ敷設貫通ヲ妨グルノ虞ナカラシメンカ爲メ相當ノ條件ヲ付スヘシ  
(己)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ノ件ニ關スル法律案  
明治二十五年法律第四號鐵道敷設法豫定鐵道線路中左ノ線路ハ私設鐵道會社ニ其ノ敷設ヲ許可スルコトヲ得  
一 香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道線中高知縣下山田野地ヨリ須崎ニ至ル鐵道  
一 香川縣下琴平ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル鐵道ニ德島縣下德島ヨリ接續スル鐵道線中德島縣下德島ヨリ川田ニ至ル鐵道

政府ハ前項ノ許可ヲ與フル場合ニ於テ德島縣下德島ヨリ高知縣下高知ヲ經テ須崎ニ至ル聯續線路ノ全部ノ敷設貫通ヲ妨クルノ虞ナカラシメンカ爲メ相當ノ條件ヲ附スヘシ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(楠本正隆君) 御質問ガナケレバ、右議案ノ審査ヲ付託スル委員ノ選舉ニ移リマス

○吉本榮吉君(八十二番) 此委員ハ前ニ立テマシタ特別委員ニ付託セラレタ

○武市彰一君(二百五十六番) 私共是ハ別ノ議長指名ノ委員ニ付託シタイト思ヒマス、理由ハ會期モ迫リテ居リマスカラ、速ニ決シタイト云フ考デ、議長指名デ、別ノ九名委員ニ付託セラレタイ

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 九名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハゴザリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ右ノ通決シマス、次ハ日程ノ第十四、東京府下郡廢置法律案、第一讀會、朗讀ヲ省キマス

第十四 東京府下郡廢置法律案(政府提出)

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス〕  
東京府下郡廢置法律案

東京府武藏國南豐島郡及東多摩郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ南豐島郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御質疑ナケレバ第十五委員選舉ニ移リマス

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○高木正年君(百二十九番) 此十四ノ所デ申ス積デシタガ、此案ハ一體先達テ大阪府下以下ノ議案ノ出マシタトキニ政府委員ニ質問シタラ提出スルト言ハレタニモ拘ラズ、幾下數週間打ツチャツ置イタ、ソレ故ニ自分カラ東京府下郡廢置法律案ヲ提出シテ、既ニ委員會カラ報告ガ成立ツテ居ル今日、政府ガ此處ニ出シテ特ニ今日更ニ委員ニ付託スルノ必要ハナイト信ジマスガ、サリナガラ議院法ノ規定ニ、委員ニ付託セヌト云フコトハ吾々自ラ發言スルコトハ出來ナイ、ソレ故ニ此件ニハ委員ノ審査ヲ經ズ、直チニ議決スルト云フコトヲ政府カラ求メラル、コトヲ私ハ望ミマス

○議長(楠本正隆君) 政府ヨリハ別段ノ請求モアリマセヌ、是ハ高木正年君提出ノ案ノ委員ガ出來テ居ル、ソレト同一ノ議案デアリマスガ、其委員ニ付託スルコトニシテハ如何デスカ

〔前ノ委員ニ付託異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ高木君ノ案ト同一委員ニ付託スルコトニ決シマス、次ハ日程ノ第十六、京都府下郡廢置法律案、第一讀會、朗讀ヲ省キマス

第十六 京都府下郡廢置法律案(政府提出)

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス〕  
京都府下郡廢置法律案

京都府山城國愛宕郡及葛野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ北葛野郡ヲ置ク

京都府山城國乙訓郡及紀伊郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ南葛野郡ヲ置ク

京都府山城國宇治郡及久世郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ宇治郡ヲ置ク

京都府丹後國中郡、竹野郡及熊野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ中野郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

○議長(楠本正隆君) 御質問ガナケレバ第十七、委員ノ選舉ニ移リマス

第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(楠本正隆君) 此委員ハドウ云フ選定法ニシマスカ

〔議長指名〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 議長指名デ御異議ナイト認メマス、因テ議長指名ニ決シマス、次ハ第十八、葉烟草專賣資金會計法案、第一讀會、朗讀ヲ省キマス

第十八 葉烟草專賣資金會計法案(政府提出)

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲メ茲ニ掲載ス〕

葉烟草專賣資金會計法案

第一條 葉烟草專賣法ニ依リ政府ニ於テ收納スル葉烟草ノ賠償ノ爲メ葉烟草專賣資金ヲ置キ特別會計ヲ設置ス

第二條 每會計年度ニ於テ其ノ歲入ノ葉烟草賠償金ニ超過スルモノハ同年度一般ノ歲入ニ編入シ資金ハ翌年度ニ繰越スヘシ

第三條 政府ハ毎年葉烟草專賣資金特別會計ノ歲入豫算ヲ調製シ歲入歳出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

第四條 葉烟草專賣資金ノ收入支出ニ關スル規程ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定メ

第五條 此ノ法律ハ明治三十一年一月一日ヨリ施行ス

○井上彦左衛門君(五十二番) 是レ亦前通ニ致シタイト思ヒマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メテ第十九ニ移リマス

第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(楠本正隆君) 議長指名ノ委員ニ付託スルコトハ御異議ナイト認メマス、因テ議長指名ニ決シマス、次ハ第二十、獸疫豫防法案一讀會ノ續

佐藤忠望君

○議長(楠本正隆君) 然ラバ高木君ノ案ト同一委員ニ付託スルコトニ決シマス、唯此第二條ニ於キマシテ聊カ修正ヲ加ヘマシタノ

第二十 獸疫豫防法案(政府提出貴族院送付)

第一讀會ノ續(特別委員)

〔佐藤忠望君演壇ニ登ル〕

○佐藤忠望君(二百二十五番) 本案ニ對スル委員會ノ經過ヲ御報道致シマス、委員會ニ於キマシテハ、此貴族院ヨリ回付セラレタル修正案ノ通大槓ハ決シマシテゴザイマス、唯此第二條ニ於キマシテ聊カ修正ヲ加ヘマシタノ

ハ、御承知ノ通本月五日ノ勅令第十三號、第十四號、第十五號等ヲ以テマシテ  
 沖繩縣ノ郡區編制法ト云フモノガ發布ニ爲テ居リマシムル、ソレ故ニ此第二  
 條ノ割注ニゴザイマス所ノ役所長ト云フ所ハ、今日ノ所デハ廢止ニ爲リマシ  
 タノデ、ソレデゴザイマスルカラ此役所長ト云フモノモナクナリマシタ、名  
 前ヲ存シテ置クコトガ出來マセヌガタメニ、豫テ御配付シテアリマシムルコ  
 トノ通、此所ニ沖繩縣ニ於テハ「役所長」ト云フ文字ヲ削リマシテ、ソレニ換  
 フルニ「又ハ之ニ準スヘキモノ」ト修正致シマシタ、即チ其儘ニ市町村制ヲ  
 施行セザル地方ニ於テハ、區戶長ト云フ郡ガゴザイマスノデ、其區戶長又  
 ハ之ニ準ズベキモノト修正致シマシタハ、畢竟此沖繩縣ノ郡區編制法ノ發  
 布ニ基キマシタノデゴザイマシテ、其大體ノ趣意ニ於キマシテハ、即チ貴  
 族院ノ同付セラレタ所ノ修正案ト異ナル所ハナイノデゴザイマス、デ、此勅  
 令ノ結果已ムヲ得ズ修正致シマシタモノデハゴザイマスケレドモ、免ニ角貴  
 族院ヨリ回リマシタモノヲ茲ニ修正ヲ加ヘルト云フコトニ爲リマシレバ、再  
 ビ又貴族院ノ同意ヲ求メナケレバナラヌト云フコトニ爲リマシムルノデゴザ  
 マスカラ、冀ハクハ讀會ヲ省略シマシテ、此所デ確定アラントコトヲ私ハ希望致  
 シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 讀會ヲ省略シタイト云フ委員長ノ意見是ニハ異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ讀會ヲ省略致シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

確定議

○議長(楠本正隆君) サウシテ委員會ノ修正ニハ御異議アリマセヌカ—御  
 勸諭ナキヲ以テ該案ノ確定ヲ報ジマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 諸君、議席ガ定足數ヲ缺クト認メマス、因テ明日ノ日程  
 ヲ報ジマス

〔佐脇書記官朗讀〕

議事日程 第四十號 明治二十九年三月十七日(火曜日)

午後一時開議

第一 臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第三 臺灣總督府所屬雇員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助  
 法ヲ適用スルノ法律案(政府提出) 第一讀會

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 銀行合併法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第六 移民保護法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第七 靜岡縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第八 岐阜縣下郡廢置及郡界變更法律案  
 (政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第九 愛媛縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第十 北海道鐵道敷設法案(貴族院提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 酒精營業稅法中改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第十三 山形縣下郡分合法案(重野謙次郎君外二名提出) 第一讀會

第十四 郡制改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第十五 國界變更法律案 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第十六 府縣農事試驗場國庫補助法案 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第十七 府縣農事試驗場國庫補助法案 第一讀會ノ續(特別委員  
 長報告)

第十八 商法中改正法律案(小室重弘君外一名提出) 第一讀會

第十九 明治二十三年法律第四十八號水利組合條例中改  
 正追加法律案(大田信一君外四名提出) 第一讀會

第二十 日本銀行課稅法案(石田貫之助君外三名提出) 第一讀會

第二十一 日本銀行條例中改正法律案(石田貫之助君外三  
 名提出) 第一讀會

第二十二 日本銀行課稅法案(阿部與人君外三名提出) 第一讀會

第二十三 家祿賞典祿處分法案(深山登晤君外二十五名  
 提出) 第一讀會

第二十四 明治二十七年法律第二十號中改正法律案(首  
 藤陸三君外二十八名提出) 第一讀會

第二十五 輸入羊毛海關稅免除法律案(松尾寬三君外七  
 名提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 是ニテ散會ヲ報ジマス

午後三時五十六分散會

衆議院議事速記録第三十七號正誤

頁	段	行	誤	正
五七二	上	一	磐城郡	石城郡
五七二	上	一	田)	便)
五七二	上	八	從來紫波郡ト	從來染ル羽ト書
五七二	上	八	書イテ紫波	ヘタル地方故染
五七二	上	八	羽郡ト稱スルハ	適當ナリト云フ
五七二	上	八	コトニテ染羽	トニテ染羽

衆議院議事速記録第三十八號正誤

頁	段	行	誤	正
五九二	下	三六	千方圓	六千方圓